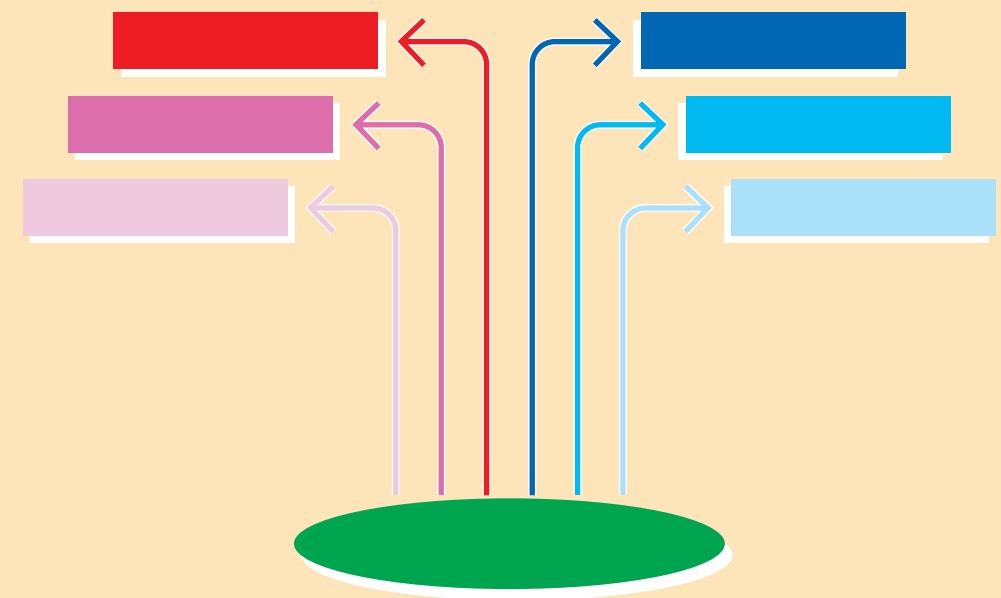


ガイダンス時に必ず持参すること

2012 (平成24年度)

全学教育科目 履修案内

Handbook for General Education Requirements



学籍番号	
氏名	

静岡大学大学教育センター

休業・臨時休講

2012(平成24)年度 授業日カレンダー

■ 試験
■ 集中
■ 月曜日授業
■ 金曜日授業
○ 静大祭(浜松)予定
○ 静大祭(静岡)予定
■ 補講(浜松)予定
■ 補講(静岡)予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

前期	月	火	水	木	金
	16	16	16	16	16

後期	月	火	水	木	金
	16	16	16	16	16

※1 上記表の回数は、試験中の回数を各期に1回含む。
 ※2 人文社会科学部夜間主コースのみ、土曜日にも授業を行います。

2012(平成24年度)
静岡大学 全学教育科目

履 修 案 内

発行 静岡大学大学教育センター
〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

編集 静岡大学大学教育センター
授業計画実施専門委員会

自由啓発・未来創成

質の高い教育と創造的な研究を推進し、社会と連携し、ともに歩む存在感のある大学

静岡大学のビジョン「自由啓発・未来創成」

わたしたちの大学は、旧制の静岡高等学校、静岡第一師範学校、静岡第二師範学校、静岡青年師範学校、浜松工業専門学校（旧浜松高等工業学校）の統合（1949年）と静岡県立農科大学の移管（1951年）とともに、こんにちの「静岡大学」としてのスタートを切りました。これらの前身校では、「自由啓発」、「自由闊達」など、学生の主体性に重きをおく教育方針がとられました。なかでも浜松高等工業学校では、「自由啓発」という理念のもと、「生徒の素質、学力、性能等を十分に考慮し」つつ、「学徒を最も自由な境遇に置き、その個性を十分に尊重し、その天賦の才能を遺憾なく伸展せしめる」教育が行われました。

この理念は、教育だけでなく、なにごとにもとらわれない自由な発想に基づく独創的な研究、相互啓発的な社会との協働に不可欠です。この認識のもと、静岡大学は、教育・研究・社会連携の柱として、「自由啓発」を発展的に継承していきます。

「自由啓発」をもとに、静岡大学の学生・教職員は、平和で幸福な「未来創成」をめざして、教育、研究、社会連携に積極的に取り組んでいきます。地域社会の一員として、地域の自然と文化に対する敬愛の念をもち、社会からよせられる期待に応えます。さらに地球規模の環境問題、食料問題、貧困、戦争、伝統的な共同体や価値観の崩壊などの大きな課題に果敢にチャレンジします。このようにして、学生・教職員、静岡大学にかかわるすべての人々が、互いに信をおき、学びあい、それぞれの多様性を尊びながら、「自由啓発・未来創成」の理念を広く共有し、平和かつ幸福な未来を創り上げていきます。

わたしたちの大学は、「自由啓発・未来創成」の理念のもと、多様な背景・価値観を認めあい、気高い使命感と探究心に溢れた人間性をはぐくみ、知の創成・継承・活用を推進し、人類の平和・幸福と地球の未来のため、地域社会とともに発展していきます。

使 命

教 育

地球の未来に責任をもち、国際的感覚を備え、高い専門性を有し、失敗を恐れないチャレンジ精神にあふれ、豊かな人間性を有する教養人を目指します。

研 究

世界の平和と人類の幸福を根底から支える諸科学を目指し、創造性あふれる学術研究を行います。

社会連携

地域社会とともに歩み、社会が直面する諸問題に真剣に取り組み、文化と科学の発信基地として、社会に貢献します。

行事予定 2012年度

学年開始	4月1日
入学式	4月4日
全学教育科目・教務ガイダンス	4月5日（教育学部、情報学部） 4月6日（人文社会科学部、理学部、農学部） 4月9日（教育学部、工学部）
前学期 授業開始	4月10日
前学期 授業終了	7月27日
前学期 補講日（浜松キャンパス）	7月21日
（静岡キャンパス）	7月22日
前学期試験	7月30日～8月3日
TOEIC演習試験	8月2日
後学期 授業開始	10月1日
静大祭（浜松キャンパス）	11月9日～11月11日
（静岡キャンパス）	11月16日～11月18日
後学期 授業終了	2月1日
後学期 補講日（浜松キャンパス）	2月2日
（静岡キャンパス）	2月3日
後学期 試験	2月4日～2月8日
卒業式（静岡キャンパス）	3月17日
（浜松キャンパス）	3月22日
学年終了	3月31日

休業日：

国民の祝日に関する法律に規定する休日

日曜日

土曜日（人文社会科学部の夜間主コースを除く。）

春季休業 3月25日から3月31日まで

夏季休業 前学期試験終了の翌日から9月15日まで

冬季休業 12月26日から翌年1月5日まで

上記のうち、春季・夏季・冬季の休業の日程は臨時に変更することがあります。
その他、必要が生じたときは、その都度臨時に休業日を定めて掲示で知らせます。

目 次

新入生の皆さんへ	1
1 学期と授業時間	2
2 事務手続き	2
3 履修科目について	3
4 全学教育科目の性格と科目区分	3
5 全学教育科目の学部別授業科目一覧	4
6 各学部の教養科目必要単位数・履修年次表	22
7 全学教育科目の性格と履修方法	26
8 授業時間割枠	28
9 履修の手続き	31
履修決定について	34
教室で抽選する授業の履修手続き	35
10 実用英語、初修外国語、健康体育、日本語・日本事情の履修について	36
11 学外での授業の履修について	39
12 学務情報システムの利用について	40
13 情報基盤センターの利用について	57
14 本学以外の教育施設等における学修の単位認定に関する申合せ	58
15 静岡大学全学教育科目規程	59
16 教養科目の成績評価に関わる指針	62
17 入学前の既修得単位等の取り扱い等について	63
18 編入学等の単位の取り扱いについて	64
19 科目等履修生等の取り扱いについて	64
20 静岡キャンパス共通教育棟校舎配置図	65
21 教務課掲示板の配置図等	66
22 浜松キャンパス校舎配置図・教室名	67
23 入学定員表	68

新入生の皆さんへ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからいよいよ皆さんの静大生としての新しい生活がはじまります。勉学に課外活動に、また友人同士の楽しい語らいにと、ぜひ有意義な4年間をすごしてください。

このうち静岡大学での勉学について言うと、皆さんが学ぶ授業科目のおよそ3分の1は、すべての学部の学生を対象とする「全学教育科目」と呼ばれる科目群です。この科目群は、それぞれの専門的な学問分野について学ぶ「学部専門科目」とは異なって、(1) 大学生として学んで行く上で共通に身につけておく必要のある基礎的な知識・スキルや教養についての科目、(2) 教員資格等の取得に必要な学部横断的な科目、(3) 理工系学部学科で共通に求められる基礎的な知識についての科目から成っており、その大半を1、2年次に履修することになります。

この「履修案内」はこれらの「全学教育科目」全体の構成と履修方法を説明するものですので、入学時に行われる履修ガイダンスを参考にしながら、注意深く読み、自分が履修しなければならない科目は何なのかをよく確認してください。

大学の授業は、高校までの授業よりも選択の幅が広く、「全学教育科目」のうちでも特に「現代教養科目」に分類されている科目群については、一定の制限はありますが、多くの科目のなかから自分の興味関心に基づいて選択することができ、また他学部の学生たちと肩を並べて勉強する機会を得ることもできます。個々の授業内容を紹介するシラバスを一覧すれば、それぞれの授業のねらいやどのようなテーマが扱われるのかを事前に知ることができるようになっていますので、ここで大学生活に不可欠な「正しく選ぶ」訓練をしてみてください。

大学での4年間で豊かなものにするためには、多くの授業のなかから自分にとって必要なものを「選ぶ」、サークルや友人やゼミを「選ぶ」、そして最終的には社会のなかで自分が進むべき道を「選ぶ」ことが皆さんには求められます。そしてこのように「正しく選ぶ」ためには、自分がいったい何者であり、何をしようとしているのかを知ることが必要です。しかしただ自分の内面を見つめていても、「本当の自分」を発見することはできません。これからの様々な出会いを大切にし、そのなかで「よく考えて選ぶ」営みを何度も繰り返すことによって、皆さんは少しずつ自分の真の姿を見つけ出していくことができるようになるでしょう。

大学教育センター長 石井 潔

1 学期と授業時間

(1) 学年、学期

学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日で終わる1年間をいいます。この1年間は前学期(前期)と後学期(後期)の二つの学期に分けられています。

前学期：4月1日～9月30日

後学期：10月1日～3月31日

通年：前学期と後学期にわたる授業について用います。

半期授業：前学期または後学期の半年間で完了する授業科目です。

この授業の成績は、その学期の終わりに評価・判定されます。

通年授業：通年にわたる授業です。

この授業の成績は後学期の終わりに評価・判定されます。

(2) 授業時間

1・2 時限	8時40分～10時10分
3・4 時限	10時20分～11時50分
5・6 時限	12時45分～14時15分
7・8 時限	14時25分～15時55分
9・10 時限	16時05分～17時35分
11・12 時限	17時50分～19時20分(夜間主)
13・14 時限	19時30分～21時00分(夜間主)

たとえば1・2時限の90分の授業を「1コマ」(ヒトコマ)といえます。

2 事務手続き

全学教育科目の授業に関する事務手続きは下記窓口で行います。また、履修に関する教務的な連絡は、静岡キャンパスは教務課教務係、浜松キャンパスは工学部教務係(教養教育)掲示板で行います。(掲示の場所はp.66からp.67参照)。掲示に常に注意して、見落としのないようにしてください。

[静岡キャンパス]

教務課教務係 【共通教育A棟2階】

[浜松キャンパス]

工学部教務係(教養教育) 【合同棟1号館1階】

[受付時間]

8時30分～12時30分、13時30分～17時15分

3 履修科目について

本学における4年間のカリキュラムには、全学部の学生を対象に開設されている「全学教育科目」と各学部・学科（課程）の「学部専門科目」があります。これらの授業は、1年次から4年次まで、学期ごとに履修するように配分されています。

この冊子では、「全学教育科目」の履修について説明しますので、各学部・学科（課程）の「学部専門科目」の履修については、各学部の「学生便覧」と「時間割」等を参照してください。なお、「履修する」とは授業を受講して単位を取得することを意味します。

4 全学教育科目の性格と科目区分

「全学教育科目」は、静岡大学全体に共通する教育理念・目標に基づいて教養教育と専門教育の有機的連関をもった四年一貫教育をねらいとして設定されています。大別すると、教養科目と専門科目に区分されます。

教養科目には、在学中や卒業後に必須となる基本的スキル・素養・実践力を身につけるための基軸教育科目、各専門分野と有機的に関連させて幅広い教養を習得するための現代教養科目、留学生のための留学生科目、および教員免許等の資格取得に必要な教職等資格科目が設定されています。専門科目には、専門科目の中で全学に共通する教職等資格科目、および理系学部に通ずる理系基礎科目が設定されています。

必修科目と選択科目等の種別があり、学部・学科（課程）ごとに履修の方法・ルールは異なりますので、本冊子の「全学教育科目の学部別授業科目一覧」(p. 4 から p. 21)、「各学部の教養科目必要単位数・履修年次表」(p. 22 から p. 25) および各学部の「学生便覧」をみて、間違いのないように履修計画をたててください。

全学教育科目の区分（工学部秋季入学生教育プログラム NIFEE を除く。）

大区分	科目区分	小科目区分
教養科目	基軸教育科目	新入生セミナー
		情報処理
		実用英語
		初修外国語
		健康体育
		フィールドワーク
		キャリア形成科目
	現代教養科目	個別分野科目
	学際科目	
留学生科目	日本語、日本事情	
教職等資格科目	教職教養科目	
専門科目	教職等資格科目	教職専門科目Ⅰ
		教職専門科目Ⅱ
		学芸員科目
理系基礎科目		

5 全学教育科目の学部別授業科目一覧

「必修・選択の別」の用語説明

「必修」：卒業するために必ず履修しなければならない科目

「選択必修」：複数の授業科目のなかから定められている単位数を必ず履修しなければならない科目

「選択」：必ず履修しなければならない科目ではないが、卒業に必要な履修単位に含まれる科目

(1) 人文社会科学部

(教養科目)

科目区分	小科目区分	授業科目	単位	選択・必修の別	授業形態	履修年次	備考
基軸教育科目	新入生セミナー	新入生セミナー	2	選択	演習	1	
	情報処理	* 情報処理	2	選択	演習	1	
	実用英語PEコース・SEコース共通	TOEIC 演習	2	選択必修	演習	1	PEコース又はSEコースのいずれかを指定する。PEコースの学生はSEコースの授業科目も履修できる。PEコースに変更が認められた学生は、PEコースの授業科目を履修できる。 上記にかかわらず、コース共通科目はいずれのコースの学生も履修できる。 選択必修科目のうち、履修年次が1年次の授業科目から2科目4単位、2年次の授業科目から2科目4単位の計4科目8単位を必修とする。 上記の8単位を超える単位は、履修年次1年次の授業科目の2科目4単位及び「英語海外研修」の2科目4単位の計4科目8単位まで卒業単位として認める。
		英語海外研修 A	2	選択	演習	1~4	
		英語海外研修 B	2	選択	演習	1~4	
	実用英語PEコース	* 英会話 PE ※1	2	選択必修	演習	1	
		* 英語演習 RDI ※2	2	選択必修	演習	1	
		応用英語 I	2	選択必修	演習	1	
		英語演習 RDII	2	選択必修	演習	2	
	実用英語SEコース	応用英語 II	2	選択必修	演習	2	
		総合英語	2	選択必修	演習	1	
		選択英語 A	2	選択	演習	1	
		選択英語 B	2	選択	演習	1	
	実用英語PEコース	応用英語 A	2	選択必修	演習	2	
応用英語 B		2	選択必修	演習	2		
* 英会話 SE ※3		2	選択必修	演習	2		
実用英語(夜間主コース)	英語演習 I	2	必修	演習	1	2科目4単位必修	
	英語演習 II	2	必修	演習	1	4単位を超える単位は、	
	* 外国語コミュニケーション(英語)	2	選択	演習	2	3科目6単位まで卒業単位として認める。	
	英語海外研修 A	2	選択	演習	1~4	夜間主コースのみ受講	
	英語海外研修 B	2	選択	演習	1~4	できる。	
初修外国語ドイツ語コース	ドイツ語 I -a	2	必修	演習	1	ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、現代韓国語の各コースのいずれかを選択する。	
	ドイツ語 I -b	2	必修	演習	1		
	ドイツ語 I -c	2	必修	演習	1		
	ドイツ語 I -d	2	必修	演習	1		
	ドイツ語 II -a	2	選択	演習	2		
	ドイツ語 II -b	2	選択	演習	2		

	フランス語コース	フランス語Ⅰ-a	2	必修	演習	1	社会学科、経済学科は必修科目のみ履修できる。 夜間主コースは、3科目6単位必修とし、各コースのⅠ-a、Ⅰ-b、Ⅰ-cを履修する。また、各コースのⅠ-bの履修年次は2年次とする。
		フランス語Ⅰ-b	2	必修	演習	1	
		フランス語Ⅰ-c	2	必修	演習	1	
		フランス語Ⅰ-d	2	必修	演習	1	
		フランス語Ⅱ-a	2	選択	演習	2	
		フランス語Ⅱ-b	2	選択	演習	2	
	中国語コース	中国語Ⅰ-a	2	必修	演習	1	
		中国語Ⅰ-b	2	必修	演習	1	
		中国語Ⅰ-c	2	必修	演習	1	
		中国語Ⅰ-d	2	必修	演習	1	
		中国語Ⅱ-a	2	選択	演習	2	
		中国語Ⅱ-b	2	選択	演習	2	
	ロシア語コース	ロシア語Ⅰ-a	2	必修	演習	1	
		ロシア語Ⅰ-b	2	必修	演習	1	
		ロシア語Ⅰ-c	2	必修	演習	1	
		ロシア語Ⅰ-d	2	必修	演習	1	
		ロシア語Ⅱ-a	2	選択	演習	2	
		ロシア語Ⅱ-b	2	選択	演習	2	
	スペイン語コース	スペイン語Ⅰ-a	2	必修	演習	1	
		スペイン語Ⅰ-b	2	必修	演習	1	
		スペイン語Ⅰ-c	2	必修	演習	1	
		スペイン語Ⅰ-d	2	必修	演習	1	
		スペイン語Ⅱ-a	2	選択	演習	2	
		スペイン語Ⅱ-b	2	選択	演習	2	
現代韓国語コース	現代韓国語Ⅰ-a	2	必修	演習	1		
	現代韓国語Ⅰ-b	2	必修	演習	1		
	現代韓国語Ⅰ-c	2	必修	演習	1		
	現代韓国語Ⅰ-d	2	必修	演習	1		
	現代韓国語Ⅱ-a	2	選択	演習	2		
	現代韓国語Ⅱ-b	2	選択	演習	2		
健康体育	*健康体育Ⅰ	1	選択	講義・実技	1~4		
	*健康体育Ⅱ	1	選択	講義・実技	1~4		
キャリア形成科目	キャリアデザイン	2	選択	講義	1		
現代教養科目	個別分野科目					〈自然科学分野〉から3科目6単位必修 6単位を超える単位は2科目4単位までを卒業単位として認める。 夜間主は〈自然科学分野〉から4科目8単位必修 8単位を超える単位は4単位までを卒業単位として認める。 夜間主コースに「日本国憲法」は開設しない。	
	<人文・社会分野>	*日本国憲法	2	選択	講義		2
	<自然科学分野>	数学の世界	2	選択必修	講義		1~3
		数理の構造	2	選択必修	講義		1~3
		物理の世界	2	選択必修	講義		1~3
		自然と物理	2	選択必修	講義		1~3
		化学の世界	2	選択必修	講義		1~3
		生活の科学	2	選択必修	講義		1~3
		生命科学	2	選択必修	講義		1~3
		生物と環境	2	選択必修	講義		1~3
		地球科学	2	選択必修	講義		1~3
		進化と地球環境	2	選択必修	講義		1~3
		科学と技術	2	選択必修	講義		1~3

現代教養科目	学際科目 テーマ 「国際・地域」 「環境・自然」 「現代社会(情報・福祉を含む)」 「生命・人間(文化・芸術を含む)」 「科学・技術」	各年度の初めに、各テーマに沿った授業科目を発表する。		選択必修	講義	2～3	1科目2単位必修。2単位を超える単位は1科目2単位までを卒業単位として認める。 夜間主コースは1年次から履修できる。
留学生科目	日本語	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語Ⅴ 日本語Ⅵ	2 2 2 2 2 2	選択 選択 選択 選択 選択 選択	演習 演習 演習 演習 演習 演習	1～2 1～2 1～2 1～2 1～2 1～2	外国人留学生のみ履修できる。日本語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲは履修することが望ましい。
	日本事情	日本事情	2	選択	講義	1～2	
教職等資格科目	教職教養科目	*教育の原理	2	選択	講義	2～4	教員免許取得希望者のみ履修できる。
		*発達と学習	2	選択	講義	2～4	
		*教育と社会	2	選択	講義	2～4	

注意 1. *印の授業科目は、教員免許状取得希望学生が必ず履修しなければならない授業科目である。

ただし、実用英語※1～3の授業科目は、3科目の中から1科目2単位を必ず履修しなければならない。

2. 言語文化学科の学生は、選択単位10単位の内、実用英語または初修外国語から4単位を必ず選択する。

(専門科目)

科目区分	小科目区分	授業科目	単 位	選択・必修 の別	授業形態	履修 年次	備 考
教職等 資格科目	教職専門科目Ⅰ	教職入門Ⅰ	1		演習	2	
		教職入門Ⅱ	1		演習	3	
		教育課程と方法(教育の方法及び技術を含む)	2		講義	3	
		道徳指導論	2		講義	2～3	
		特別活動論	2		講義	3	
		生徒指導(進路指導の理論及び方法を含む)	2		講義	3	
		教育相談	2		講義	3	
	教職専門科目Ⅱ	国語科教育法Ⅱ	2		講義	3	
		国語科教育法Ⅲ	2		講義	3	
		国語科教育法Ⅳ	2		講義	3	
		社会科教育法Ⅱ	2		講義	3	
		社会科教育法Ⅲ(地歴)	2		講義	3	
		社会科教育法Ⅳ(公民)	2		講義	3	
		英語科教育法Ⅱ	2		講義	3	
英語科教育法Ⅲ	2		講義	3			
英語科教育法Ⅳ	2		講義	3			
ドイツ語教育法Ⅱ	2		講義	3			
ドイツ語教育法Ⅲ	2		講義	3			
ドイツ語教育法Ⅳ	2		講義	3			
フランス語教育法Ⅱ	2		講義	3			

	フランス語教育法Ⅲ	2		講義	3	
	フランス語教育法Ⅳ	2		講義	3	
	中国語教育法Ⅱ	2		講義	3	
	中国語教育法Ⅲ	2		講義	3	
	中国語教育法Ⅳ	2		講義	3	
	教育実習事前・事後指導	1		演習	2～4	
	教職実践演習(中・高)	2		演習	4	
学芸員科目	生涯学習概論	2		講義	1	
	博物館概論	2		講義	1	
	博物館経営論	2		講義	2	
	博物館資料論Ⅰ	1		講義	2	
	博物館資料論Ⅱ	1		講義	2	
	博物館展示論	2		講義	2	
	博物館情報・メディア論	2		講義	2	
	博物館資料保存論	2		講義	3	
	博物館教育論	2		講義	3	

(2) 教育学部

(教養科目)

科目区分	小科目区分	授業科目	単位	選択・必修の別	授業形態	履修年次	備考	
基軸教育科目	新入生セミナー	新入生セミナー	2	選択	演習	1		
	情報処理	*情報処理	2	必修	演習	1		
	実用英語PEコース・SEコース共通	TOEIC 演習	2	選択必修	演習	1	PEコース又はSEコースのいずれかを指定する。PEコースの学生はSEコースの授業科目も履修できる。PEコースに変更が認められた学生は、PEコースの授業科目を履修できる。 上記にかかわらず、コース共通科目はいずれのコースの学生も履修できる。	
		英語海外研修 A	2	選択	演習	1～4		
		英語海外研修 B	2	選択	演習	1～4		
	実用英語PEコース	*英会話 PE ※1	2	選択必修	演習	1		
		*英語演習 RDI ※2	2	選択必修	演習	1		
		応用英語 I	2	選択必修	演習	1		
		英語演習 RDII	2	選択必修	演習	2		
	応用英語 II	2	選択必修	演習	2			
	実用英語SEコース	総合英語	2	選択必修	演習	1		選択必修科目のうち、履修年次が1年次の授業科目から2科目4単位、2年次の授業科目から2科目4単位の計4科目8単位を必修とする。 上記の8単位を超える単位は、履修年次1年次の授業科目の2科目4単位及び「英語海外研修」の2科目4単位の計4科目8単位まで卒業単位として認める
		選択英語 A	2	選択	演習	1		
		選択英語 B	2	選択	演習	1		
		応用英語 A	2	選択必修	演習	2		
	応用英語 B	2	選択必修	演習	2			
		*英会話 SE ※3	2	選択必修	演習	2		
	初修外国語ドイツ語コース	ドイツ語A-1	2	必修	演習	1		ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、現代韓国語の各コースのいずれかを選択する。
		ドイツ語A-2	2	必修	演習	1		
		ドイツ語B	2	選択	演習	2		
	フランス語コース	フランス語A-1	2	必修	演習	1		
		フランス語A-2	2	必修	演習	1		
		フランス語B	2	選択	演習	2		
中国語コース	中国語A-1	2	必修	演習	1			
	中国語A-2	2	必修	演習	1			
	中国語B	2	選択	演習	2			
ロシア語コース	ロシア語A-1	2	必修	演習	1			
	ロシア語A-2	2	必修	演習	1			
	ロシア語B	2	選択	演習	2			
スペイン語コース	スペイン語A-1	2	必修	演習	1			
	スペイン語A-2	2	必修	演習	1			
	スペイン語B	2	選択	演習	2			
現代韓国語コース	現代韓国語A-1	2	必修	演習	1			
	現代韓国語A-2	2	必修	演習	1			
	現代韓国語B	2	選択	演習	2			
健康体育	*健康体育 I	1	必修	講義・実技	1～4			
	*健康体育 II	1	必修	講義・実技	1～4			
	スポーツ I	1	選択	実技	2～4			
	スポーツ II	1	選択	実技	2～4			
キャリア形成科目	キャリアデザイン	2	選択	講義	1			

現代教養 科目	個別分野科目 ＜人文・社会分野＞	哲学	2	選択必修	講義	1～3	3科目6単位必修 ＜人文・社会分野＞から1 科目2単位以上、＜自然科 学分野＞から2科目4単位 以上を履修すること。 日本国憲法について、学 校教育教員養成課程の学 生は1年次に履修、新3課 程の学生は2年次に履修す ること。
		歴史と文化	2	選択必修	講義	1～3	
		ことばと表現	2	選択必修	講義	1～3	
		*日本国憲法	2	選択必修	講義	1～2	
		法と社会	2	選択必修	講義	1～3	
		経済と社会	2	選択必修	講義	1～3	
		国際社会と日本	2	選択必修	講義	1～3	
		現代の社会	2	選択必修	講義	1～3	
		心理学	2	選択必修	講義	1～3	
		地域と文化	2	選択必修	講義	1～3	
	芸術論	2	選択必修	講義	1～3		
	＜自然科学分野＞	数学の世界	2	選択必修	講義	1～3	
		数理の構造	2	選択必修	講義	1～3	
		物理の世界	2	選択必修	講義	1～3	
自然と物理		2	選択必修	講義	1～3		
化学の世界		2	選択必修	講義	1～3		
生活の科学		2	選択必修	講義	1～3		
生命科学		2	選択必修	講義	1～3		
生物と環境		2	選択必修	講義	1～3		
地球科学		2	選択必修	講義	1～3		
進化と地球環境 科学と技術		2 2	選択必修 選択必修	講義 講義	1～3 1～3		
学際科目 テーマ 「国際・地域」 「環境・自然」 「現代社会(情報・福 祉を含む)」 「生命・人間(文化・芸 術を含む)」 「科学・技術」	各年度の初めに、各 テーマに沿った授業 科目を発表する。		選択必修	講義	2～3	1科目2単位必修。2単位を 超える単位は2科目4単位 までを卒業単位として認め る。	
留学生 科目	日本語	日本語Ⅰ	2	選択	演習	1～2	外国人留学生のみ履修で きる。日本語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲは履 修することが望ましい。
		日本語Ⅱ	2	選択	演習	1～2	
		日本語Ⅲ	2	選択	演習	1～2	
		日本語Ⅳ	2	選択	演習	1～2	
		日本語Ⅴ	2	選択	演習	1～2	
		日本語Ⅵ	2	選択	演習	1～2	
	日本事情	日本事情	2	選択	講義	1～2	
教職等 資格科目	教職教養科目	*教育の原理	2	必修/選択	講義	1	新3課程は選択、教員免許 取得希望者のみ履修でき る。
		*発達と学習	2	必修/選択	講義	1	
		*教育と社会	2	必修/選択	講義	2	

注意 *印の授業科目は、教員免許状取得希望学生が必ず履修しなければならない授業科目である。

ただし、実用英語※1～3の授業科目は、3科目の中から1科目2単位を必ず履修しなければならない。

(専門科目)

科目区分	小科目区分	授業科目	単 位	選択・必修 の別	授業 形態	履修 年次	備 考
教職等 資格科目	学芸員科目	生涯学習概論Ⅰ	2		講義	1	
		博物館概論	2		講義	1	
		博物館経営論	2		講義	2	
		博物館資料論Ⅰ	1		講義	2	
		博物館資料論Ⅱ	1		講義	2	
		博物館展示論	2		講義	2	
		博物館情報・メディア論	2		講義	2	
		博物館資料保存論	2		講義	3	
		博物館教育論	2		講義	3	

(3) 情報学部

(教養科目)

科目区分	小科目区分	授業科目	単位	選択・必修の別	授業形態	履修年次	備考
基軸教育科目	新入生セミナー	新入生セミナー	2	選択	演習	1	
	情報処理	*情報処理	2	選択	演習	1	
	実用英語PEコース・SEコース共通	TOEIC 演習	2	選択必修	演習	1	PEコース又はSEコースのいずれかを指定する。PEコースの学生はSEコースの授業科目も履修できる。PEコースに変更が認められた学生は、PEコースの授業科目を履修できる。 上記にかかわらず、コース共通科目はいずれのコースの学生も履修できる。 選択必修科目のうち、履修年次が1年次の授業科目から2科目4単位、2年次の授業科目から2科目4単位の計4科目8単位を必修とする。上記の8単位を超える単位は、履修年次1年次の授業科目の2科目4単位及び「英語海外研修」の2科目4単位の計4科目8単位まで卒業単位として認める。
		英語海外研修 A	2	選択	演習	1~4	
		英語海外研修 B	2	選択	演習	1~4	
	実用英語PEコース	*英会話 PE ※1	2	選択必修	演習	1	
		*英語演習 RDI ※2	2	選択必修	演習	1	
		応用英語 I	2	選択必修	演習	1	
		英語演習 RDII	2	選択必修	演習	2	
	実用英語SEコース	応用英語 II	2	選択必修	演習	2	
		総合英語	2	選択必修	演習	1	
		選択英語 A	2	選択	演習	1	
		選択英語 B	2	選択	演習	1	
		応用英語 A	2	選択必修	演習	2	
		応用英語 B	2	選択必修	演習	2	
	初修外国語ドイツ語コース	*英会話 SE ※3	2	選択必修	演習	2	
		ドイツ語A-1	2	必修	演習	1	
		ドイツ語A-2	2	必修	演習	1	
		ドイツ語B-a	2	選択	演習	1	
		ドイツ語B-b	2	選択	演習	1	
ドイツ語B-c		2	選択	演習	2		
フランス語コース	ドイツ語B-d	2	選択	演習	2		
	フランス語A-1	2	必修	演習	1		
	フランス語A-2	2	必修	演習	1		
	フランス語B-a	2	選択	演習	1		
	フランス語B-b	2	選択	演習	1		
	フランス語B-c	2	選択	演習	2		
中国語コース	フランス語B-d	2	選択	演習	2		
	中国語A-1	2	必修	演習	1		
	中国語A-2	2	必修	演習	1		
	中国語B-a	2	選択	演習	1		
	中国語B-b	2	選択	演習	1		
	中国語B-c	2	選択	演習	2		
ロシア語コース	中国語B-d	2	選択	演習	2		
	ロシア語A-1	2	必修	演習	1		
	ロシア語A-2	2	必修	演習	1		
	ロシア語B-a	2	選択	演習	1		
	ロシア語B-b	2	選択	演習	1		
	ロシア語B-c	2	選択	演習	2		
	ロシア語B-d	2	選択	演習	2		

	スペイン語コース	スペイン語A-1	2	必修	演習	1		
		スペイン語A-2	2	必修	演習	1		
		スペイン語B-a	2	選択	演習	1		
		スペイン語B-b	2	選択	演習	1		
		スペイン語B-c	2	選択	演習	2		
		スペイン語B-d	2	選択	演習	2		
	現代韓国語コース	現代韓国語A-1	2	必修	演習	1		
		現代韓国語A-2	2	必修	演習	1		
		現代韓国語B-a	2	選択	演習	1		
		現代韓国語B-b	2	選択	演習	1		
		現代韓国語B-c	2	選択	演習	2		
		現代韓国語B-d	2	選択	演習	2		
	健康体育	*健康体育Ⅰ	1	選択	講義・実技	1～3		
		*健康体育Ⅱ	1	選択	講義・実技	1～3		
		スポーツⅠ	1	選択	実技	2～3		
スポーツⅡ		1	選択	実技	2～3			
キャリア形成科目	キャリアデザイン	2	選択	講義	1			
現代教養科目	個別分野科目 ＜人文・社会分野＞	哲学	2	選択必修	講義	1～3	2分野からそれぞれ2科目合わせて4科目8単位必修 8単位を超える単位は2科目4単位までを卒業単位として認める。	
		歴史と文化	2	選択必修	講義	1～3		
		ことばと表現	2	選択必修	講義	1～3		
		*日本国憲法	2	選択必修	講義	1～3		
		法と社会	2	選択必修	講義	1～3		
		経済と社会	2	選択必修	講義	1～3		
		国際社会と日本	2	選択必修	講義	1～3		
		現代の社会	2	選択必修	講義	1～3		
		心理学	2	選択必修	講義	1～3		
		地域と文化	2	選択必修	講義	1～3		
		芸術論	2	選択必修	講義	1～3		
		＜自然科学分野＞	数学の世界	2	選択必修	講義		1～3
			数理の構造	2	選択必修	講義		1～3
	物理の世界		2	選択必修	講義	1～3		
	自然と物理		2	選択必修	講義	1～3		
	化学の世界		2	選択必修	講義	1～3		
	生活の科学		2	選択必修	講義	1～3		
	生命科学		2	選択必修	講義	1～3		
	生物と環境	2	選択必修	講義	1～3			
	地球科学	2	選択必修	講義	1～3			
進化と地球環境	2	選択必修	講義	1～3				
科学と技術	2	選択必修	講義	1～3				
学際科目 テーマ 「国際・地域」 「環境・自然」 「現代社会(情報・福祉を含む)」 「生命・人間(文化・芸術を含む)」 「科学・技術」	各年度の初めに、各テーマに沿った授業科目を発表する。		選択必修	講義	2～3	2科目4単位必修。4単位を超える単位は1科目2単位まで卒業単位として認める。		

留学生 科目	日本語	日本語Ⅰ	2	必修	演習	1～2	外国人留学生のみ履修できる。日本語Ⅲは履修することが望ましい。
		日本語Ⅱ	2	必修	演習	1～2	
		日本語Ⅲ	2	選択	演習	1～2	
		日本語Ⅳ	2	選択	演習	1～2	
		日本語Ⅴ	2	選択	演習	1～2	
		日本語Ⅵ	2	選択	演習	1～2	
	日本事情	日本事情	2	選択	講義	1～2	
教職等 資格科目	教職教養科目	*教育の原理	2	選択	講義	2～4	教員免許取得希望者のみ履修できる。
		*発達と学習	2	選択	講義	2～4	
		*教育と社会	2	選択	講義	2～4	

注意 *印の授業科目は、教員免許状取得希望学生が必ず履修しなければならない授業科目である。
ただし、実用英語※1～3の授業科目は、3科目の中から1科目2単位を必ず履修しなければならない。

(専門科目)

科目区分	小科目区分	授業科目	単 位	選択・必修 の別	授業形態	履修 年次	備 考
理系基礎 科目		線形代数学Ⅰ	2	科CS必修、 科IS選必	講義	1	科CSは情報科学科CS 科ISは情報科学科IS 社ISは情報社会学科IS
		線形代数学Ⅱ	2	科CS必修、 科IS選必	講義	1	
		微分積分学Ⅰ	2	科CS必修、 科IS選必	講義	1	
		微分積分学Ⅱ	2	科CS必修、 科IS選必	講義	1	
		離散数学	2	科CS必修、 科IS選必 社IS選必	講義	2	
		情報代数及び符号理論	2	科CS必修、 科IS選必	講義	2	
教職等 資格科目	教職専門科目Ⅰ	教職入門Ⅰ	1		演習	2	
		教職入門Ⅱ	1		演習	3	
		教育課程と方法(教育の方法及び技術を含む)	2		講義	3	
		特別活動論	2		講義	3～4	
		生徒指導(進路指導の理論及び方法を含む)	2		講義	3	
		教育相談	2		講義	3	
	教職専門科目Ⅱ	情報科教育法Ⅰ	2		講義	3	
		情報科教育法Ⅱ	2		講義	3	
		教育実習事前・事後指導	1		演習	3～4	
		教職実践演習(中・高)	2		演習	4	
	学芸員科目	博物館概論	2		講義	1	
		生涯学習概論	2		講義	2	
		博物館経営論	2		講義	1～2	
博物館資料論		2		講義	1～2		
博物館資料保存論		2		講義	1～2		
博物館展示論		2		講義	1～2		
博物館教育論		2		講義	1～2		
博物館情報・メディア論		2		講義	1～2		

(4) 理学部

(教養科目)

科目区分	小科目区分	授業科目	単位	選択・必修の別	授業形態	履修年次	備考	
基軸教育科目	新入生セミナー	新入生セミナー	2	選択	演習	1		
	情報処理	*情報処理	2	選択	演習	1		
	実用英語PEコース・SEコース共通	TOEIC 演習	2	選択必修	演習	1	PEコース又はSEコースのいずれかを指定する。PEコースの学生はSEコースの授業科目も履修できる。PEコースに変更が認められた学生は、PEコースの授業科目を履修できる。上記にかかわらず、コース共通科目はいずれのコースの学生も履修できる。	
		英語海外研修 A	2	選択	演習	1~4		
		英語海外研修 B	2	選択	演習	1~4		
	実用英語PEコース	*英会話 PE ※1	2	選択必修	演習	1		
		*英語演習 RD I ※2	2	選択必修	演習	1		
		応用英語 I	2	選択必修	演習	1		
		英語演習 RD II	2	選択必修	演習	2		
		応用英語 II	2	選択必修	演習	2		
	実用英語SEコース	総合英語	2	選択必修	演習	1		
		選択英語 A	2	選択	演習	1		
		選択英語 B	2	選択	演習	1		
		応用英語 A	2	選択必修	演習	2		
		応用英語 B	2	選択必修	演習	2		
		*英会話 SE ※3	2	選択必修	演習	2		
	初修外国語ドイツ語コース	ドイツ語A-1	2	必修	演習	1		ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、現代韓国語の各コースのいずれかを選択する。
		ドイツ語A-2	2	必修	演習	1		
		ドイツ語B	2	選択	演習	2		
	フランス語コース	フランス語A-1	2	必修	演習	1		
フランス語A-2		2	必修	演習	1			
フランス語B		2	選択	演習	2			
中国語コース	中国語A-1	2	必修	演習	1			
	中国語A-2	2	必修	演習	1			
	中国語B	2	選択	演習	2			
ロシア語コース	ロシア語A-1	2	必修	演習	1			
	ロシア語A-2	2	必修	演習	1			
	ロシア語B	2	選択	演習	2			
スペイン語コース	スペイン語A-1	2	必修	演習	1			
	スペイン語A-2	2	必修	演習	1			
	スペイン語B	2	選択	演習	2			
現代韓国語コース	現代韓国語A-1	2	必修	演習	1			
	現代韓国語A-2	2	必修	演習	1			
	現代韓国語B	2	選択	演習	2			
健康体育	*健康体育 I	1	選択	講義・実技	1~4			
	*健康体育 II	1	選択	講義・実技	1~4			
キャリア形成科目	キャリアデザイン	2	選択	講義	1			

現代教養 科目	個別分野科目 <人文・社会分野>	哲学 歴史と文化 ことばと表現 *日本国憲法 法と社会 経済と社会 国際社会と日本 現代の社会 心理学 地域と文化 芸術論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	選択必修 選択必修 選択必修 選択必修 選択必修 選択必修 選択必修 選択必修 選択必修 選択必修 選択必修	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	1~2 1~2 1~2 2 1~2 1~2 1~2 1~2 1~2 1~2 1~2	4科目8単位必修
	学際科目 テーマ 「国際・地域」 「環境・自然」 「現代社会(情報・福祉を含む)」 「生命・人間(文化・芸術を含む)」 「科学・技術」	各年度の初めに、各テーマに沿った授業科目を発表する。		選択必修	講義	2~3	2科目4単位必修。4単位を超える単位は1科目2単位までを卒業単位として認める。
留学生 科目	日本語	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語Ⅴ 日本語Ⅵ	2 2 2 2 2 2	選択 選択 選択 選択 選択 選択	演習 演習 演習 演習 演習 演習	1~2 1~2 1~2 1~2 1~2 1~2	外国人留学生のみ履修できる。日本語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲは履修することが望ましい。
	日本事情	日本事情	2	選択	講義	1~2	
教職等 資格科目	教職教養科目	*教育の原理 *発達と学習 *教育と社会	2 2 2	選択 選択 選択	講義 講義 講義	2~4 2~4 2~4	教員免許取得希望者のみ履修できる。

注意 *印の授業科目は、教員免許状取得希望学生が必ず履修しなければならない授業科目である。
ただし、実用英語※1~3の授業科目は、3科目の中から1科目2単位を必ず履修しなければならない。

(専門科目)

科目区分	小科目区分	授業科目	単 位	選択・必修 の別	授業形態	履修 年次	備 考
理系基礎 科目		数学Ⅰ(微分積分A)	2	PCBG必修	講義	1	Mは数学科 Pは物理学科 Cは化学科 Bは生物科学科 Gは地球科学科
		数学Ⅱ(線形代数A)	2	PCBG必修	講義	1	
		数学Ⅲ(微分積分B)	2	PC必修、 BG選択	講義	1	
		数学Ⅳ(線形代数B)	2	PC必修、 BG選択	講義	2	
		数学Ⅴ(統計)	2	PCBG選択	講義	2	
		数学Ⅵ(微分積分C)	2	PCBG選択	講義	2	
		物理入門	2	MCBG選択	講義	1	自由科目
		物理学Ⅰ(力学)	2	MC選択、 BG必修	講義	1	
		物理学Ⅱ(電磁気)	2	MCBG選択	講義	2	

		物理学Ⅲ(現代物理)	2	MCBG 選択	講義	2	
		化学Ⅰ(物理化学 A)	2	MP 選択、 BG 必修	講義	1	
		化学Ⅱ(物理化学 B)	2	MPBG 選択	講義	1	
		化学Ⅲ(有機化学)	2	MPBG 選択	講義	2	
		生物学Ⅰ(基礎 A)	2	MPC 選択、 G 必修	講義	1	
		生物学Ⅱ(基礎 B)	2	MPCG 選択	講義	1	
		地球科学Ⅰ(基礎 A)	2	MPC 選択、 B 必修	講義	1	
		地球科学Ⅱ(基礎 B)	2	MPCB 選択	講義	1	
		物理学実験	1	P 必修、 CBG 選択	実験	2	
		化学実験	1	CB 必修、 PG 選択	実験	1	
		生物学実験	1	B 必修、 PCG 選択	実験	2	
		地学実験	1	G 必修、 PCB 選択	実験	2	
		機器分析科学入門Ⅰ	1	PCBG 選択	講義	2	
		機器分析科学入門Ⅱ	1	PCBG 選択	講義	2	
教職等 資格科目	教職専門科目Ⅰ	教職入門Ⅰ	1		演習	2	
		教職入門Ⅱ	1		演習	3	
		教育課程と方法(教育の 方法及び技術を含む)	2		講義	3	
		道徳指導論	2		講義	2~3	
		特別活動論	2		講義	3	
		生徒指導(進路指導の理 論及び方法を含む)	2		講義	3	
		教育相談	2		講義	3	
		教職専門科目Ⅱ	数学科教育法Ⅱ	2		講義	2~3
	数学科教育法Ⅲ	2		講義	2~3		
	数学科教育法Ⅳ	2		講義	2~3		
	理科教法Ⅱ	2		講義	2~3		
	理科教法Ⅲ	2		講義	2~3		
	理科教法Ⅳ	2		講義	2~3		
	情報科教法Ⅰ	2		講義	2~3		
	情報科教法Ⅱ	2		講義	2~3		
	教育実習事前・事後指導	1		演習	3~4		
	教職実践演習(中・高)	2		演習	4		
	学芸員科目	生涯学習概論	2		講義	1	
		博物館概論	2		講義	1	
		博物館経営論	2		講義	2	
博物館資料論Ⅰ		1		講義	2		
博物館資料論Ⅱ		1		講義	2		
博物館展示論		2		講義	2		
博物館情報・メディア論		2		講義	2		
博物館資料保存論		2		講義	3		
博物館教育論		2		講義	3		

(5) 工学部 (NIFEE を除く)

(教養科目)

科目区分	小科目区分	授業科目	単位	選択・必修の別	授業形態	履修年次	備考	
基軸教育 科目	新入生セミナー	新入生セミナー	1	必修	演習	1		
	情報処理	* 情報処理	2	必修	演習	1		
	実用英語 SEコース	TOEIC 演習	2	必修	演習	1	5科目10単位必修 2年次では、3科目から 2科目4単位選択必修 「選択科目」のみ2科 目4単位まで卒業単位 として認める。	
		総合英語	2	必修	演習	1		
		応用英語 A	2	選択必修	演習	2		
		応用英語 B	2	選択必修	演習	2		
		* 英会話 SE	2	選択必修	演習	2		
		応用英語C	2	必修	演習	3		
	英語海外研修 A	2	選択	演習	1~4			
	英語海外研修 B	2	選択	演習	1~4			
	健康体育	* 健康体育 I	1	選択	講義・実技	3~4		
		* 健康体育 II	1	選択	講義・実技	3~4		
フィールドワーク	工学基礎実習	1	必修	実習	1			
	創造教育実習	1	必修	実習	1			
	ものづくり・理科教育支援	2	選択	演習	2~3			
キャリア形成科目	キャリアデザイン	1	必修	講義	2			
現代教養 科目	個別分野科目 〈人文・社会分野〉	哲学	2	選択必修	講義	1~3	〈人文・社会分野〉の 科目から4科目8単位 必修 8単位を超える単位 は分野を問わず 2 科 目 4 単位までを卒業 単位として認める。 左記の授業科目一覧 に記載のない授業科 目は履修できない。	
		歴史と文化	2	選択必修	講義	1~3		
		ことばと表現	2	選択必修	講義	1~3		
		* 日本国憲法	2	選択必修	講義	1~3		
		法と社会	2	選択必修	講義	1~3		
		経済と社会	2	選択必修	講義	1~3		
		国際社会と日本	2	選択必修	講義	1~3		
		現代の社会	2	選択必修	講義	1~3		
		心理学	2	選択必修	講義	1~3		
		地域と文化	2	選択必修	講義	1~3		
		芸術論	2	選択必修	講義	1~3		
		〈自然科学分野〉	数理の構造	2	選択必修	講義		1~3
			自然と物理	2	選択必修	講義		1~3
	生活の科学		2	選択必修	講義	1~3		
	生命科学		2	選択必修	講義	1~3		
	生物と環境		2	選択必修	講義	1~3		
	地球科学		2	選択必修	講義	1~3		
	進化と地球環境 科学と技術		2	選択必修	講義	1~3		
	学際科目 テーマ 「国際・地域」 「環境・自然」 「現代社会(情報・福	各年度の初めに、各 テーマに沿った授業 科目を発表する。		選択必修	講義	2~3	1科目2単位必修。2単 位を超える単位は 2 科 目 4 単位までを卒業単 位として認める。	

	祉を含む) 「生命・人間(文化・芸術を含む)」 「科学・技術」						
留学生 科目	日本語	日本語Ⅰ	2	選択	演習	1～2	外国人留学生のみ履修できる。日本語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲは履修することが望ましい。
		日本語Ⅱ	2	選択	演習	1～2	
		日本語Ⅲ	2	選択	演習	1～2	
		日本語Ⅳ	2	選択	演習	1～2	
		日本語Ⅴ	2	選択	演習	1～2	
		日本語Ⅵ	2	選択	演習	1～2	
	日本事情	日本事情	2	選択	講義	1～2	
教職等 資格科目	教職教養科目	*教育の原理	2	選択	講義	2～4	教員免許取得希望者のみ履修できる。
		*発達と学習	2	選択	講義	2～4	

注意 *印の授業科目は、教員免許状取得希望学生が必ず履修しなければならない授業科目である。

(専門科目)

科目区分	小科目区分	授業科目	単 位	選択・必修 の別	授業形態	履修 年次	備 考
理系基礎 科目		微分積分学Ⅰ	2	MEDCA必修	講義	1	Mは機械工学科 EDは電気電子工学科 Cは物質工学科 Aはシステム工学科
		微分積分学Ⅱおよび演習	3	MEDCA必修	講義・演習	1	
		線形代数学Ⅰおよび演習	3	MEDCA必修	講義・演習	1	
		線形代数学Ⅱ	2	MEDCA必修	講義	1	
		力学・波動Ⅰ	2	MEDCA必修	講義	1	
		力学・波動Ⅱ	2	MEDCA必修	講義	1	
		電磁気学	2	MCA必修	講義	2	
		現代物理	2	MED必修	講義	2	
		熱統計力学	2	EDA必修	講義	2	
		工学基礎化学Ⅰ	2	MEDCA必修	講義	1	
		工学基礎化学Ⅱ	2	MEDCA必修	講義	1	
		基礎無機化学	2	C必修	講義	1	
		物理・化学実験	1	MEDCA必修	実験	2	
教職等 資格科目	教職専門科目Ⅰ	教育課程と方法(教育の方法及び技術を含む)	2		講義	3	
		特別活動論	2		講義	3	
		生徒指導(進路指導の理論及び方法を含む)	2		講義	3	
	教職専門科目Ⅱ	工業科教育法Ⅰ	2		講義	3	
		工業科教育法Ⅱ	2		講義	3	
		教育実習事前・事後指導	1		演習	3～4	
	教職実践演習(中・高)	2		演習	4		

○ 秋季入学生教育プログラム(NIFEE)は工学部学生便覧を参照のこと

(6) 農学部

(教養科目)

科目区分	小科目区分	授業科目	単位	選択・必修の別	授業形態	履修年次	備考	
基軸教育科目	新入生セミナー	新入生セミナー	2	選択	演習	1		
	情報処理	*情報処理	2	選択	演習	1		
	実用英語PEコース・SEコース共通	TOEIC 演習	2	選択必修	演習	1	PEコース又はSEコースのいずれかを指定する。PEコースの学生はSEコースの授業科目も履修できる。PEコースに変更が認められた学生は、PEコースの授業科目を履修できる。 上記にかかわらず、コース共通科目はいずれのコースの学生も履修できる。 選択必修科目のうち、履修年次が1年次の授業科目から2科目4単位、2年次の授業科目から2科目4単位の計4科目8単位を必修とする。 上記の8単位を超える単位は、履修年次1年次の授業科目の2科目4単位及び「英語海外研修」の2科目4単位の計4科目8単位まで卒業単位として認める。	
		英語海外研修 A	2	選択	演習	1~4		
	英語海外研修 B	2	選択	演習	1~4			
	実用英語PEコース	*英会話 PE ※1	2	選択必修	演習	1		
		*英語演習 RD I ※2	2	選択必修	演習	1		
		応用英語 I	2	選択必修	演習	1		
		英語演習 RD II	2	選択必修	演習	2		
	実用英語SEコース	応用英語 II	2	選択必修	演習	2		
		総合英語	2	選択必修	演習	1		
		選択英語 A	2	選択	演習	1		
		選択英語 B	2	選択	演習	1		
		応用英語 A	2	選択必修	演習	2		
	応用英語 B	2	選択必修	演習	2			
		*英会話 SE ※3	2	選択必修	演習	2		
	初修外国語	ドイツ語A-1	2	選択	演習	2		履修する者は、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、現代韓国語の各コースのいずれかを選択する。
	ドイツ語コース	ドイツ語A-2	2	選択	演習	2		
		フランス語コース	フランス語A-1	2	選択	演習		
	フランス語A-2		2	選択	演習	2		
	中国語コース	中国語A-1	2	選択	演習	2		
		中国語A-2	2	選択	演習	2		
	ロシア語コース	ロシア語A-1	2	選択	演習	2		
ロシア語A-2		2	選択	演習	2			
スペイン語コース	スペイン語A-1	2	選択	演習	2			
	スペイン語A-2	2	選択	演習	2			
現代韓国語コース	現代韓国語A-1	2	選択	演習	2			
	現代韓国語A-2	2	選択	演習	2			
健康体育	*健康体育 I	1	選択	講義・実技	1~4			
	*健康体育 II	1	選択	講義・実技	1~4			
	スポーツ I	1	選択	実技	2~4			
	スポーツ II	1	選択	実技	2~4			
フィールドワーク	フィールド科学概論	2	選択	講義	1			
	フィールド科学演習	1	選択	演習	1			
キャリア形成科目	キャリアデザイン	2	選択	講義	1			

現代教養 科目	個別分野科目 ＜人文・社会分野＞	哲学	2	選択必修	講義	1～3	4科目8単位必修 ただし、＜人文・社会分 野＞から3科目 6 単位以 上履修すること。 8単位を超える単位は2 科目4単位までを卒業単 位として認める。
		歴史と文化	2	選択必修	講義	1～3	
		ことばと表現	2	選択必修	講義	1～3	
		* 日本国憲法	2	選択必修	講義	2	
		法と社会	2	選択必修	講義	1～3	
		経済と社会	2	選択必修	講義	1～3	
		国際社会と日本	2	選択必修	講義	1～3	
		現代の社会	2	選択必修	講義	1～3	
		心理学	2	選択必修	講義	1～3	
		地域と文化	2	選択必修	講義	1～3	
芸術論	2	選択必修	講義	1～3			
	＜自然科学分野＞	数理の構造	2	選択必修	講義	1～3	
		自然と物理	2	選択必修	講義	1～3	
		地球科学	2	選択必修	講義	1～3	
		進化と地球環境	2	選択必修	講義	1～3	
		科学と技術	2	選択必修	講義	1～3	
	学際科目 テーマ 「国際・地域」 「環境・自然」 「現代社会(情報・福 祉を含む)」 「生命・人間(文化・芸 術を含む)」 「科学・技術」	各年度の初めに、各 テーマに沿った授業 科目を発表する。		選択必修	講義	2～3	2科目4単位必修。4単位 を超える単位は1科目2 単位までを卒業単位とし て認める。
留学生 科目	日本語	日本語Ⅰ	2	選択	演習	1～2	外国人留学生のみ履修 できる。日本語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ は履修することが望まし い。
		日本語Ⅱ	2	選択	演習	1～2	
		日本語Ⅲ	2	選択	演習	1～2	
		日本語Ⅳ	2	選択	演習	1～2	
		日本語Ⅴ	2	選択	演習	1～2	
		日本語Ⅵ	2	選択	演習	1～2	
	日本事情	日本事情	2	選択	講義	1～2	
教職等 資格科目	教職教養科目	* 教育の原理	2	選択	講義	2～4	教員免許取得希望者の み履修できる。
		* 発達と学習	2	選択	講義	2～4	

注意 *印の授業科目は、教員免許状取得希望学生が必ず授業履修しなければならない授業科目である。

ただし、実用英語※1～3の授業科目は、3科目の中から1科目2単位を必ず履修しなければならない。

(専門科目)

科目区分	小科目区分	授業科目	単 位	選択・必修 の別	授業形態	履修 年次	備 考
理系基礎 科目		数学概論A	2	BFC必修	講義	1	Bは共生バイオサイエン ス学科 Fは環境森林科学科 Cは応用生物化学科
		数学概論B	2	BFC必修	講義	1	
		物理学概論A	2	BFC必修	講義	1	
		物理学概論B	2	BFC必修	講義	1	
		化学概論A	2	BFC必修	講義	1	
		化学概論B	2	BFC必修	講義	1	

		生物学概論A	2	BFC必修	講義	1	
		生物学概論B	2	BFC必修	講義	1	
		物理学実験	1	BC選択、 F必修	実験	2	
		化学実験	1	BFC必修	実験	1	
		生物学実験	1	BFC必修	実験	1	
教職等 資格科目	教職専門科目 I	教育課程と方法(教育の 方法及び技術を含む)	2		講義	3	
		生徒指導(進路指導の理 論及び方法を含む)	2		講義	3	
	教職専門科目 II	理科教育法Ⅲ	2		講義	2～3	
		理科教育法Ⅳ	2		講義	2～3	
		農業科教育法 I	2		講義	1～2	
		農業科教育法 II	2		講義	1～2	
		教育実習事前・事後指導	1		演習	3～4	
		教職実践演習(中・高)	2		演習	4	

6 各学部の教養科目必要単位数・履修年次表

(1) 人文社会科学部

科目区分	小科目区分	必修・選択の別	社会学科・経済学科			言語文化学科・法学科		
			必修単位数	選択単位数	履修年次	必修単位数	選択単位数	履修年次
基軸教育科目	新入生セミナー	選択		0～2	1		0～2	1
	情報処理	選択		0～2	1		0～2	1
	実用英語	必修及び選択	8	0～8	1～4	8	0～8	1～4
	初修外国語	必修及び選択	8		1	8	0～4	1～2
	健康体育	選択		0～2	1～4		0～2	1～4
	キャリア形成科目	選択		0～2	1		0～2	1
現代教養科目	個別分野科目	選択必修	6	0～4	1～3	6	0～4	1～3
	学際科目	選択必修	2	0～2	2～3	2	0～2	2～3
留学生科目	日本語	選択		0～12	1～2		0～12	1～2
	日本事情	選択		0～2	1～2		0～2	1～2
教職等資格科目	教職教養科目	選択		0～6	2～4		0～6	2～4
小計			24	10		24	10	
計			34			34		

* 日本語の単位は、実用英語、初修外国語、現代教養科目のいずれかに振り替えることができる。

* 日本事情の単位は、現代教養科目の単位に振り替えることができる。

* 言語文化学科の学生は、選択単位 10 単位のうち、実用英語または初修外国語から 4 単位を必ず選択する。

人文社会科学部夜間主コース

科目区分	小科目区分	必修・選択の別	法学科・経済学科		
			必修単位数	選択単位数	履修年次
基軸教育科目	新入生セミナー	選択		0～2	1
	情報処理	選択		0～2	1
	実用英語	必修及び選択	4	0～6	1～4
	初修外国語	必修	6		1～2
	健康体育	選択		0～2	1～4
現代教養科目	個別分野科目	選択必修	8	0～4	1～3
	学際科目	選択必修	2	0～2	2～3
教職等資格科目	教職教養科目	選択		0～6	2～4
小計			20	10	
計			30		

(2) 教育学部

科目区分	小科目区分	必修・選択 の別	学校教育教員養成課程			生涯教育課程 総合科学教育課程 芸術文化課程		
			必修 単位数	選 択 単位数	履修 年次	必修 単位数	選 択 単位数	履修 年次
基軸教育科目	新入生セミナー	選択		0～2	1		0～2	1
	情報処理	必修	2		1	2		1
	実用英語	必修及び選択	8	0～8	1～4	8	0～8	1～4
	初修外国語	必修及び選択	4	0～2	1～2	4	0～2	1～2
	健康体育	必修及び選択	2	0～2	1～4	2	0～2	1～4
	キャリア形成科目	選択		0～2	1		0～2	1
現代教養科目	個別分野科目	選択必修	6	0～4	1～3	6	0～4	1～3
	学際科目	選択必修	2	0～4	2～3	2	0～4	2～3
留学生科目	日本語	選択		0～12	1～2		0～12	1～2
	日本事情	選択		0～2	1～2		0～2	1～2
教職等資格科目	教職教養科目	必修又は選択	6		1～4		0～6	1～4
小計			30	8		24	14	
計			38			38		

* 日本語の単位は、実用英語、初修外国語、現代教養科目のいずれかに振り替えることができる。

* 日本事情の単位は、現代教養科目の単位に振り替えることができる。

(3) 情報学部

科目区分	小科目区分	必修・選択 の別	必修 単位数	選 択 単位数	履修 年次
基軸教育科目	新入生セミナー	選択		0～2	1
	情報処理	選択		0～2	1
	実用英語	必修及び選択	8	0～8	1～4
	初修外国語	必修及び選択	4	0～8	1～2
	健康体育	選択		0～4	1～3
	キャリア形成科目	選択		0～2	1
現代教養科目	個別分野科目	選択必修	8	0～4	1～3
	学際科目	選択必修	4	0～2	2～3
留学生科目	日本語	必修及び選択	(4)	0～8	1～2
	日本事情	選択		0～2	1～2
教職等資格科目	教職教養科目	選択		0～6	2～4
小計			24	14	
計			38		

* 留学生については、日本語必修4単位と初修必修4単位を、相互に振り替えることができる。

ただし、英語を母国語とする留学生については、日本語選択8単位は実用英語必修8単位に振り替えることができる。

* 日本事情の単位は、現代教養科目の単位に振り替えることができる。

(4) 理学部

科目区分	小科目区分	必修・選択 の別	必修 単位数	選択 単位数	履修 年次
基軸教育科目	新入生セミナー	選択		0～2	1
	情報処理	選択		0～2	1
	実用英語	必修及び選択	8	0～8	1～4
	初修外国語	必修及び選択	4	0～2	1～2
	健康体育	選択		0～2	1～4
	キャリア形成科目	選択		0～2	1
現代教養科目	個別分野科目	選択必修	8		1～2
	学際科目	選択必修	4	0～2	2～3
留学生科目	日本語	必修及び選択		0～12	1～2
	日本事情	選択		0～2	1～2
教職等資格科目	教職教養科目	選択		0～6	2～4
小計			24	10	
計			34		

* 日本語の単位は、実用英語、初修外国語、現代教養科目のいずれかに振り替えることができる。

* 日本事情の単位は、現代教養科目の単位に振り替えることができる。

(5) 工学部

科目区分	小科目区分	必修・選択 の別	必修 単位数	選択 単位数	履修 年次
基軸教育科目	新入生セミナー	必修	1		1
	情報処理	必修	2		1
	実用英語	必修及び選択	10	0～4	1～4
	健康体育	選択		0～2	3～4
	フィールドワーク	必修及び選択	2	0～2	1～3
	キャリア形成科目	必修	1		2
現代教養科目	個別分野科目	選択必修	8	0～4	1～3
	学際科目	選択必修	2	0～4	2～3
留学生科目	日本語	選択		0～12	1～2
	日本事情	選択		0～2	1～2
教職等資格科目	教職教養科目			0～4	2～4
小計			26	6	
計			32		

* 日本語の単位は、実用英語、現代教養科目のいずれかに振り替えることができる。

* 日本事情の単位は、現代教養科目の単位に振り替えることができる。

○ 秋季入学生教育プログラム(NIFEE)は工学部学生便覧を参照のこと。

(6) 農学部

科目区分	小科目区分	必修・選択 の別	必 修 単位数	選 択 単位数	履修 年次
基軸教育科目	新入生セミナー	選択		0～2	1
	情報処理	選択		0～2	1
	実用英語	必修及び選択	8	0～8	1～4
	初修外国語	選択		0～4	2
	健康体育	選択		0～4	1～4
	フィールドワーク	選択		0～3	1
	キャリア形成科目	選択		0～2	1
現代教養科目	個別分野科目	選択必修	8	0～4	1～3
	学際科目	選択必修	4	0～2	2～3
留学生科目	日本語	選択		0～12	1～2
	日本事情	選択		0～2	1～2
教職等資格科目	教職教養科目	選択		0～4	2～4
小計			20	17	
計			37		

* 日本語の単位は、実用英語、初修外国語、現代教養科目のいずれかに振り替えることができる。

* 日本事情の単位は、現代教養科目の単位に振り替えることができる。

7 全学教育科目の性格と履修方法

<教養科目>

(1) 基軸教育科目

この科目群に設定されている科目は、在学中や卒業後に必須となる基本的スキル・素養・実践力を身につけるための科目です。この科目群の内、「新入生セミナー」、「情報処理」、「実用英語」、「初修外国語（工学部は除く）」、「健康体育（工学部は除く）」は、すべての1年生（初修外国語については農学部は2年生）が履修できるように開講クラスを用意します。

① 新入生セミナー

大学生活と大学における学問・研究の基本的な進め方を体得することを目的として、1年次前期に1クラス15人を目安として開講します。大学への導入・転換を目的としていますので特別な許可のない限り、1年次前期のみの履修となります。2年次以降は必修科目となっている工学部を除き履修できませんので注意してください。

なお、工学部「新入生セミナー」は他学科クラスでの履修（再履修を含む。）はできません。

② 情報処理

高度に情報化された社会の中で自立的で正確な対応ができる情報処理の能力を体得させることを目的とします。情報機器数に応じてクラスサイズを決定します。

③ 実用英語

国際性豊かな英語のコミュニケーション能力を備えるために「実用」を重視しています。履修の方法はp. 36を参照してください。

④ 初修外国語

幅広い国際性と外国語コミュニケーション能力を備えるため、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、現代韓国語のコースを開設します。1クラスの人数は40名を目安として開講します。履修の方法はp. 38を参照してください。

⑤ 健康体育

運動と健康などとの関係をより深く理解し、健康な生活を送る方法を身につけるとともに、豊かな生活を送るためのスポーツ技術を修得するため、1クラス40名を目安として工学部以外の学生には1年次から開講します。「健康体育」は、学部によっては選択科目ですが、健康な大学生活への導入と基本スキルの獲得を目的としていますので、1年次開講の「健康体育」は特殊な事情がない限り履修することを薦めます。

履修の方法はp. 38を参照してください。

⑥ フィールドワーク

講義形式の座学にとらわれず、地域をキャンパスに見立てて実社会の様々な人々との連携・交流を重視する科目です。また、工学部ではものづくりの基礎を実習することを主目的として開講します。1クラスの履修人数は授業形態により異なりますので、特に定めません。

⑦ キャリア形成科目

職業意識や人生設計への問題意識を喚起するための講義科目です。4年間の学生生活をどのように過ごしていくのか、将来を見据えながら考えていく科目です。

工学部は2年次必修となっています。他学科クラスでの履修（再履修含む。）はできません。

(2) 現代教養科目

広い意味の教養（問題発見・解決能力・視野の広さ・思考の柔軟性・問題意識の高さ等）を身につけるための科目群です。1クラス120人を目安として開講します。

① 個別分野科目

各専門分野と有機的に関連させて幅広い教養の習得をめざし、自らの専門を超えた学問分野への問題関心を喚起するための科目です。文系学生は理系科目、理系学生は文系科目を重点的に履修する「たすきがけ・クロス履修」のシステムが設定されています。教育学部学生は文・理混在ですが、理系科目を重点的に履修します。

なお、人文社会科学部学生が人文・社会分野の「日本国憲法」を履修した場合、教養科目の選択科目として扱われます。

② 学際科目

広く現代が提起している諸課題への問題意識を明確にし、広い視野から柔軟な思考力にもとづいて問題を発見・分析できる能力を育てるとともに、分野横断かつ学際的・複合領域にわたる知識をもとに、総合的に問題を解決しうる資質を身につけるための科目です。5つのテーマ群が設定され、各年度の初めに授業科目が発表されます。

(3) 留学生科目

① 日本語、日本事情

外国人留学生（国費外国人留学生、外国政府派遣留学生、秋季入学生教育プログラム（NIFEE）学生及び私費外国人特別選抜入学生）のために開講される科目です。日本語の単位は実用英語、初修外国語、現代教養科目のいずれかに、日本事情の単位は現代教養科目に振り替えることができますが、学部によって取り扱いが異なります。1クラスの人数は当該年度の留学生等の数により異なります。「各学部の教養科目必要単位数・履修年次表」（p. 22 から p. 25）と p. 39 を参照してください。

(4) 教職等資格科目

① 教職教養科目

教員免許を取得するための科目で、教育学部学校教員養成課程の学生は1・2年次必修です。同課程以外の学生は、免許の取得を希望する人だけが履修できます。教育学部新3課程の学生は1年次から、それ以外の学生は2年次から履修できます。1クラスの人数は特に定めません。

< 専門科目 >

(1) 教職等資格科目

教職等の資格を取るための科目で、全学共通の科目だけが全学教育科目として開講されます。これらの科目は、資格取得を希望する者が履修できます。1 クラスの人数は特に定めません。

それぞれの資格を取得するためには、この他にも学部専門で開講される科目の履修が必要ですので、各学部の「学生便覧」と「時間割」を参照してください。

① 教職専門科目Ⅰ、教職専門科目Ⅱ

教員免許を取得するための科目で、教育学部学校教員養成課程の学生に対しては学部専門科目として1年次から開講されます。「教育学部学生便覧」と「教育学部時間割」を参照してください。教育学部以外の免許取得希望者は2年次から履修できます。

② 学芸員科目

学芸員の資格を取得するための科目で、資格取得希望者は1年次から履修できます。

(2) 理系基礎科目

理系専門教育のための基礎知識と理系分野における教養を習得するための科目です。この目的から情（情報科学科）・理・工・農学部の学生を対象に1・2年次で開講されます。

詳細は各学部の「学生便覧」を参照してください。

8 授業時間割枠

各学部の時間割枠は次ページからの表のとおりです。学部ごとに指定された時間割枠で履修することになっています。原則として指定された時間割枠以外では履修できませんが、3年次以降は、授業の定員に対して履修学生数に余裕がある場合、履修を認められます。

学部・学年別開講時間割枠

各学部の時間割枠は次の表のとおりとなっています。学部毎の枠内で授業を受けることとなっていますので、他学部の枠と間違えることのないよう注意してください。

人文社会科学部 1年次生

	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10
月	○△日本語	○情報処理(社言経)	○△初修外国語		○セミナー(経)
火		○△実用英語	○△健康体育(社言法)	○セミナー(言法) ○△健康体育(経)	
水	○キャリア形成科目 △個別分野科目 △日本事情		○△初修外国語	○セミナー(社法) ○情報処理(社言経)	△キャリア形成科目
木			○△日本語		
金	○情報処理(法)		○△実用英語 △TOEIC演習(再履修)	○情報処理(社言)	○学芸員科目

教育学部 1年次生

	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10
月	○△日本語	○△初修外国語A	○△健康体育(教員) ○セミナー(国際理解)	○セミナー ○情報処理	
火	○△実用英語		○セミナー ○情報処理	○セミナー ○情報処理	
水	○キャリア形成科目 △個別分野科目 △日本事情	○△教職教養科目	○△健康体育(三課程)	○キャリア形成科目	△キャリア形成科目
木			○△日本語		
金		○△実用英語 △TOEIC演習(再履修)		○学芸員科目	

理学部 1年次生

	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10
月	○△日本語	○△初修外国語A	○情報処理(MCB)	△理系基礎科目	
火	○セミナー(C) ○△理系基礎科目	○△実用英語	○セミナー(P) △理系基礎科目	△理系基礎科目	
水	○セミナー(MB) ○情報処理(PG) △個別分野科目 △日本事情	○△健康体育(PBG)	○セミナー(G) ○△健康体育(MC) △理系基礎科目	○キャリア形成科目 △理系基礎科目	△キャリア形成科目
木	○△理系基礎科目	○△理系基礎科目	○△日本語		
金	○△理系基礎科目	○△理系基礎科目	○△実用英語 △TOEIC演習(再履修)		○学芸員科目

農学部 1年次生

	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10
月	○△日本語		○△フィールドワーク ○△理系基礎科目	○△フィールドワーク ○△理系基礎科目	
火	○△実用英語	○セミナー	○理系基礎科目	○理系基礎科目	
水	○キャリア形成科目 △個別分野科目 △日本事情	○△健康体育	○△理系基礎科目	○理系基礎科目	△キャリア形成科目
木	○情報処理 △理系基礎科目	○△理系基礎科目	○△日本語		
金	○△理系基礎科目	○△実用英語 △TOEIC演習(再履修)	○理系基礎科目	○理系基礎科目	

情報学部 1年次生

	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10
月	○日本語 ○△学芸員科目				
火	○学芸員科目 △情報処理 △キャリア形成科目	○セミナー △個別分野科目 △日本語	○△初修外国語B	○△実用英語	
水		○△実用英語	○△健康体育(科)	○△健康体育(社) ○△理系基礎科目	
木				○△日本語 △TOEIC演習(再履修)	△学芸員科目
金		○△理系基礎科目	○△初修外国語A	○セミナー	○日本事情

工学部 1年次生

	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10
月	○日本語 ○セミナー(ED) △理系基礎科目	○情報処理(M) ○△理系基礎科目	○△理系基礎科目 ○△フィールドワーク	○△理系基礎科目 ○△フィールドワーク	
火	○セミナー(C) ○情報処理(C)	○セミナー(MCA) ○情報処理(C) △個別分野科目 △日本語	○△理系基礎科目 ○△フィールドワーク	○△理系基礎科目 ○△フィールドワーク	
水	○△実用英語(EDCA)	○セミナー(A) ○情報処理(ED) ○△実用英語(M)	○△理系基礎科目 ○△フィールドワーク	○△理系基礎科目 ○△フィールドワーク	
木	○セミナー(ED) ○△理系基礎科目	○セミナー(ED) ○△理系基礎科目	○セミナー(ED)	○△日本語 △TOEIC演習(再履修)	
金	○情報処理(A)	○情報処理(A) △理系基礎科目	○△理系基礎科目 ○△フィールドワーク	○△理系基礎科目 ○△フィールドワーク	○日本事情

9 履修の手続き

(1) 履修計画の立て方

(a) まず、p. 29 から p. 30 の「授業時間割枠」で、開講されている全学教育科目の種類を確認します。

(b) 選択必修と選択科目については、選択する授業を以下の手順に従って決める必要があります。

1) 『2012(平成24年度)全学教育科目 授業時間割』を使って、それぞれの時間どのような科目を履修できるかを確認します。

注) 対象となっている学部・学年・前学期・後学期などに注意します。

2) 『2012(平成24年度)SYLLABUS 全学教育科目 前学期授業内容の紹介』を使って、第一回授業の前までに第一希望、第二希望、・・・と希望授業を絞り込んでおきます。

注1) 選択単位は開講されているすべての科目を履修できるとは限りません。

注2) 授業科目名が同じものを2科目以上履修しても、卒業必要単位としては1科目しか認められません。

注3) 『2012(平成24年度)SYLLABUS 全学教育科目 前学期授業内容の紹介』は学務情報システムで閲覧できるほか、大学のホームページから検索・閲覧できます。
なお、後学期授業については学務情報システムで検索してください。

(2) 履修の手続き

必修、選択必修、選択科目に限らず、履修する科目が決まったら、以下の一連の手続きを行うことによって履修手続きが終了し、成績評価を受けることができます。

(a) 履修クラス決定の手続き

1) 履修手続きの方法は科目によって異なります。「授業開始前にクラス指定されるもの」と「第一回授業時に決定されるもの」とがあります。

(→ p. 34 「履修決定について」)

2) 「授業開始前にクラス指定されるもの」に関しては、指定されたクラスを掲示板(→ p. 66 から 67) や授業時間割などで確認しておきます。

3) 「第一回授業時に決定されるもの」に関しては、履修希望者が多数の場合には抽選が行われます。抽選方法は教室方式と体育館方式の2通りがあります。

(→ p. 35 「教室で抽選する授業の履修手続き」)

4) 「第一回授業時に決定されるもの」に関しては、第一回授業時に「抽選カード」を教員に提出してください。

(b) 学務情報システムへの履修登録

1) 履修が認められた全学教育科目と学部専門科目を指定された日までに、学務情報システムに履修登録してください。すでに登録済みの科目もありますが、間違いがないか確認してください。(→ p. 40 「学務情報システムの利用について」)

2) 履修登録に誤りがあると成績評価が得られないことになります。

- * なお、後学期（後期）からは、静岡キャンパスの「個別分野科目」「学際科目」「キャリアデザイン」、クラス指定のない「実用英語」については、希望科目の学務情報システムでの抽選登録を実施します。日程等の詳細は前学期終了後に掲示します。
浜松キャンパスでの実施は検討中です。実施となった場合、9月下旬にガイダンスを行います。

(c) 試験

- 1) 「定期試験」・・・前学期・後学期の終わりには「定期試験」の期間が設けられます。
 - 注1) 「定期試験」の時間割は、通常授業の時間帯に行われるとは限りません。
試験期間の時間割は、1週間前までに掲示されます。
 - 注2) 出席状況が悪い場合には、受験資格を失う場合もあります。

- 2) 「追試験」・・・次の理由のいずれかに該当して受験ができなかった場合には、試験日から1週間以内に「追試験」を静岡キャンパスは教務課教務係、浜松キャンパスは工学部教務係（教養教育）に願い出ることができます。追試験の許可者および日程等は掲示等で通知します。
 - 理由1) 病気または怪我
(試験当日の容態についての診断書等が必要だが、事前に上記係に連絡すること。)
 - 理由2) 忌引 1親等・2親等の親族の死亡日から1週間以内の場合
(会葬の礼状等、事由を証明できる資料が必要)
 - 理由3) その他、緊急な事由として大学教育センターが認めたもの
(事由を証明できるものが必要)

- 3) 「再試験」・・・「定期試験」または「追試験」を受験したが不合格（「不可」）になった場合、担当教員の判断により「再試験」を行う場合があります。再試験の許可者および日程等は掲示で通知します。ただし、再試験に合格した場合の成績はすべて「可」となります。

* 試験における注意事項

- 注1) 試験の際は、学生証を机の上に提示し、携帯電話は電源を切ってカバンの中に。
- 注2) 試験において不正行為が行われた場合は、当該学期の全学教育科目の履修をすべて無効とするなど規則によって処分されます。
- 注3) 単位レポート等において Web サイトからのコピー・ペーストや、他人の作成した著作物の丸写しや無断引用及びレポートの代筆等の不正行為が行われた場合も、当該学期の全学教育科目の履修をすべて無効とするなど規則によって処分されます。

(d) 成績通知表の確認

- 1) 学務情報システムの成績情報参照画面から出力できます。
成績の評価は、「秀」「優」「良」「可」「不可」で表記され、「秀」「優」「良」「可」を合格とし、履修単位として認められます。(秀：100～90点、優：90点未満～80点、良：80点未満～70点、可：70点未満～60点、不可：60点未満)

- 2) 「不可」となった科目については不合格とします。これは、「成績通知表」によって

学生に通知しますが、「成績原簿」には記載されません。

- 3) 不合格の場合は、同一授業科目（あるいは同じ科目区分の別科目）を再度履修（「再履修」）できます。

* 「再履修」とは、一度履修したものの「不可」となった科目（あるいは同じ科目区分の別科目）を次の年次（又は学期）で履修することを言います。

(e) GPA制度について

2009年度からグレードポイントアベレージ（GPA）が導入されました。各科目の成績は次の算定式でポイントとなります。

$$GP（各科目のグレードポイント） = （成績評点（数字） - 55） \div 10$$

（但し、0.5未満の場合は0.0とする。100点満点）

$$GPA = \sum（GP \times 当該科目の単位数） \div 履修総単位数$$

成績証明書には、各科目のGPは小数点2位まで、GPAは小数点3位まで表示されません。

なお、成績評価が「合」「否」「認定」の科目はGP算定の対象としません。また、各学部のカリキュラムで卒業要件科目でない科目もGP算定の対象としません。

(3) 成績評価に関する疑義に対する手続き

履修科目の成績評価に関して疑義がある場合は、成績通知表受領後、速やか（4年生後学期は2月末日まで）に、静岡キャンパスは共通教育A棟2階の教務課教務係、浜松キャンパスは合同棟1号館1階の工学部教務係（教養教育）に申し出てください。

(4) 授業における出欠席の取り扱い

授業は出席することが原則ですが、病気入院（新型インフルエンザ罹患等による出席停止含む）、忌引きのほか、正規の授業として行われる実習等で欠席する場合や、学生担当副学長が特に認めた課外活動（コンサートや試合）での欠席は、決められた手続きをとれば欠席扱いとしません。ただし、追加実験や補講への出席を免除するものではありません。手続きについては所属学部の学務（教務）係に問い合わせてください。

一方、就職活動等での欠席の対応は、授業担当教員の判断に委ねられています。授業シラバス等で明示されている許容欠席回数を確認し、必要なら担当教員にも相談して卒業要件に注意して判断してください。

(5) 休講について

担当教員が病気や出張等の理由で授業が休講となる場合がありますが、事前に分かっているときには、学務情報システムに登録してあるメールアドレス宛に休講のお知らせが行きます。当日になって急に休講となるケースでは、掲示板でお知らせします。

しかし、上記いずれの連絡もなく、授業開始時間を30分以上過ぎても担当教員が教室に現れないときは、その旨を静岡キャンパスは教務課教務係、浜松キャンパスは工学部教務係（教養教育）までお知らせください。休講とするかどうか判断します。

【履修決定について】

1 優先シール可

		決定時期	決定方法	決定結果の通知
情報処理（情報学部）		第一回授業時	抽選（教室）	授業時間内に決定
実用英語（静岡 1 年前期）	クラス指定のない科目	第一回授業時	抽選（教室）	授業時間内に決定 欠員状況は一括掲示※
初修外国語	選 択	第一回授業時	抽選（教室）	授業時間内に決定 欠員状況は一括掲示※
健康体育 / スポーツ	必修 / 選択	第一回授業時	抽選（体育館）	授業時間内に決定
キャリア形成科目（浜松後期、静岡前期）	選 択	第一回授業時	抽選（教室）	授業時間内に決定 欠員状況は一括掲示※
個別分野科目（浜松）	選択必修	第一回授業時	抽選（教室）	授業時間内に決定 欠員状況は一括掲示※
学際科目（浜松）	選択必修	第一回授業時	抽選（教室）	授業時間内に決定 欠員状況は一括掲示※

2 優先シール不可

		決定時期等	決定方法	決定結果の通知
新入生セミナー	必修 ----- 選 択	授業開始以前 第一回授業時	学部・学科 抽選（教室）	共通教育B棟（静岡）・教養教育 掲示板（浜松）に掲示等
情報処理（情報学部以外の学部）		授業開始以前	学部・学科	共通教育B棟（静岡）・教養教育 掲示板（浜松）に掲示
実用英語（静岡） （1年後学期以降）	クラス指定のない科目	Web 登録	Web 抽選	共通教育B棟（静岡）・Web に 掲載
初修外国語	必 修	授業開始以前	選択申請書に基づく	共通教育B棟（静岡）・教養教育 掲示板（浜松）に掲示
個別分野科目（静岡）	選択必修	Web 登録	Web 抽選	Web に掲載
学際科目（静岡）	選択必修	Web 登録	Web 抽選	Web に掲載
フィールドワーク	必修 ----- 選 択	授業開始以前	学部・学科	学部・学科を通じて掲示等
キャリア形成科目 （静岡後期）	選 択	Web 登録	Web 抽選	Web に掲載
日本語、日本事情	必修 ----- 選 択	第一回授業時	担当教員	授業時間内に決定
教職教養科目	必修 ----- 選 択	授業開始以前 第一回授業時	学部・学科 担当教員	学部・学科を通じて掲示等 授業時間内に決定
教職専門科目Ⅰ		第一回授業時	担当教員	授業時間内に決定
教職専門科目Ⅱ		第一回授業時	担当教員	授業時間内に決定
学芸員科目		第一回授業時	担当教員	授業時間内に決定
理系基礎科目		授業開始以前	学部・学科	学部・学科を通じて掲示等

※ 第一回授業の前半の欠員状況は、共通教育A棟2階玄関（静岡）、総合棟玄関（浜松）に掲示します。
最終的な欠員状況は、共通L棟掲示板（静岡）、合同棟2号館掲示板（浜松）に掲示します。

【教室で抽選する授業の履修手続き】

時間（目安）	手 順
授業開始前	履修希望の授業を予め選んで、授業が行われる教室を確認しておく。
開始後 15 分 までに	希望する教室に行き、授業のガイダンスを聞く。 各教室の入口には、その科目の履修定員が示してあり、履修希望者が多数の場合には抽選が行われることになる。
開始後 50 分 までに	第 1 希望の教室を決定し教員の指示に従う。（抽選カードを提出する。） ① 希望者が定員に達していない場合は、全員の履修が認められる。 ② 希望者が定員を超えた場合は、 注 1 による抽選を行う。 （抽選に外れた学生の抽選カードは返される。）
開始後 70 分 までに	②により履修が認められた学生は教室に残って授業を最後まで継続する。 ②により抽選に外れた学生はすみやかに退出し、第 2 希望の教室に行ってその授業のガイダンスを聞く。 （各教室の欠員状況の一覧は、指定場所（ 注 2 ）に掲示する。）
授業終了 までに	第 2 希望の教室を決定し、教員の指示に従う。（抽選カードを提出する。） ③ 履修希望者がなお定員に達しない場合は、全員の履修が認められる。 ④ 定員を超えた場合は、抽選が行われる。抽選方法は 1 回目と同じ。 2 回目の抽選にも外れた学生は、時間内であれば欠員のある別の教室に行き、履修手続きをする。
授業終了後	履修する授業が決まらなかった学生は、欠員のある授業科目一覧が指定の場所（ 注 3 ）に掲示されるので、その指示に従って 2 回目の授業開始時まで、履修手続きを行う。

注 1：抽選方法：その時間枠指定学部・学年の履修生と再履修生とを分けて、提出した抽選カードによって無作為抽選される。その際、各自に配布されている「優先シール」を貼ってある抽選カードは優先的に受理される。「優先抽選カード（「優先シール」を貼ってある抽選カード）」で定員が埋まらない場合には、それ以外のカードを無作為抽選する。「優先抽選カード」が定員を超えて提出された場合は、それを対象に抽選される。どの科目に「優先シール」を使用するかは各自で判断する。

注 2：静岡キャンパスは共通教育 A 棟 2F 玄関、浜松キャンパスは総合棟玄関前及び情報棟玄関

注 3：静岡キャンパスは共通教育 L 棟掲示板、浜松キャンパスは合同棟 2 号館南側教養教育掲示板

10 実用英語、初修外国語、健康体育、日本語・日本事情の履修について

(1) 実用英語

(a) 履修コース等の決定について

以下の①と②に基づいて、履修するコース（標準レベルの SE コースか上級レベルの PE コース）とクラスが指定されます。〔注1〕

- ① 入学手続き書類の一部として提出する希望調査
- ② a. ～c. のいずれかのスコア
- a. 大学入試センター試験の結果（一般入試によって合格した場合）
- b. 大学入試センター試験の自己採点結果報告書（センター試験を課さない推薦入試等に合格した後でセンター試験の英語を受験した場合）
- c. 以下の要領で実施するプレースメントテストの結果（上記以外）
- | | | |
|------|--------------------|---------------|
| 実施日時 | 平成 24 年 4 月 2 日（月） | 10：30 ～ 12：00 |
| 実施場所 | 静岡：共通教育 A 棟 205 室 | 浜松：総合研究棟 24 室 |
- * センター試験「英語」を受験しなかった者は必ず受けること。

◎ 前学期履修コース・クラス分け掲示日程

日 時	平成 24 年 4 月 6 日（金）15 時
掲示場所	静岡キャンパス：共通教育 B 棟掲示板 浜松キャンパス：教養教育掲示板

〔注1〕指定されるコースは希望通りになるとは限りません。また、工学部の全学生及び教育学部で保育士資格取得希望の学生は PE コースを選択できませんが、クラス分けのために②のいずれかのスコアが必要ですので、該当する場合にはプレースメントテストを必ず受験してください。

(b) 各履修コースの概要

指定されたコースで履修可能な科目について、卒業に必要な 4 科目 8 単位を超えて 6 科目 12 単位まで履修することができます(人文社会科学部夜間主コースを除く)。

1) 海外研修科目（コース共通科目）

「英語海外研修 A」および「英語海外研修 B」（各 2 単位）として、アルバータ大学（カナダ）およびネブラスカ大学オマハ校（アメリカ）への夏季短期留学に参加することができます。申込み期間は 4 月から 5 月下旬に設定されますので、実施詳細については国際交流センターにお問い合わせください。

2) SE コース（人文社会科学部、教育学部、理学部、農学部、情報学部）

2 年次科目は 2 科目 4 単位のみ履修することとし、3 科目以上は卒業に必要な単位として認められません。選択科目を必修単位に読み替えることはできません。

	前学期		後学期	
1 年	TOEIC 演習	(50 人)	総合英語	(35 人)
	【選択】選択英語 A	(45 人)	【選択】選択英語 B	(50 人)
2 年	応用英語 A（前学期設置）又は 応用英語 B（後学期設置）		(各 40 人)	
	又は 英会話 SE（前・後学期設置）		(25 人)	

（ ）内は予定クラスサイズ

3) SE コース(工学部)

3年間で5科目10単位を必修とします。2年次科目は2科目4単位のみを選択して履修することとし、3科目以上は卒業に必要な単位には認められません。

	前学期	後学期
1年	TOEIC 演習 (50人)	総合英語 (35人)
2年	応用英語 A (前学期設置) 又は 応用英語 B (後学期設置) 又は 英会話 SE (前・後学期設置) (各 40人) (25人)	
3年	応用英語 C ^[注 2]	() 内は予定クラスサイズ

【注 2】 工学部のみ。学科の指示に従うこと。学科ごとに開設しますので、再履修の場合でも他学科のクラスでの受講はできません。

4) PE コース(人文社会科学部、教育学部、理学部、農学部、情報学部)

TOEIC 演習 (コース共通) を含む、以下の全 6 科目 12 単位を取得した学生は PE コースを修了したものと認定し、翌年度の前学期に修了証書を授与します。

	前学期	後学期
1年	英会話 PE (25人)	英語演習 RD I (25人)
	TOEIC 演習 (50人)	応用英語 I (25人)
2年	応用英語 II 及び 英語演習 RD II (各 30人)	

() 内は予定クラスサイズ

5) 人文社会科学部夜間主コース

必修 2 科目 4 単位と選択 1 科目 2 単位の合計 3 科目 6 単位までが卒業単位として認定されます。これらは夜間主コースの学生のみ受講できます。

〔必修科目 (2 科目 4 単位) : 「英語演習 I」、「英語演習 II」
選択科目 (1 科目 2 単位) : 「外国語コミュニケーション (英語)」〕

(c) 履修コースの変更 (人文社会科学部夜間主コース、工学部を除く)

履修コースは、学期末ごとに変更の希望を申し出ることができます。

申請窓口：共通教育 A 棟 2 階教務課 (静岡)、工学部教務係 (教養教育) (浜松)

- 1) 【SE コースから PE コースの場合】: 各学期末の指定の期間に申請してください。それまでの科目の成績等に基づき、英語科目部で審査されます。許可なく PE コース設置科目に登録し履修しても単位として認められません。
- 2) 【PE コースから SE コースの場合】: 各学期末の指定の期間に申請の上、翌学期から SE コース設置科目を履修してください。

(d) その他の注意事項

- 1) 教員免許状を取得するには「英会話 PE」「英語演習 RD I」「英会話 SE」のうちのいずれか 1 科目 2 単位を履修する必要があります。
- 2) 本学以外の教育施設等の授業を受講した場合や、外部試験を受験して一定の成績を取めた場合に、各科目の単位が認定されることがあります。p. 58 を参照して必要な手続きを取ってください。
- 3) 「TOEIC 演習」を不可になった場合、期末試験実施日以降の在学期間中に実施される TOEIC 公開テスト又は IP テストで 400 点以上を取得して申告すれば、「可」として単位を再認定します。また、再履修生用クラスや 1 年生用クラスを再履修し、単位を取得することもできます。
- 4) 浜松キャンパス開設の「応用英語 A」「応用英語 B」再履修クラスは、3・4 年生のみ履修することができます。

(2) 初修外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、現代韓国語)

(a) 1年生の必修科目(クラス指定)は、学部・学科によって履修形態が異なりますので、全学教育科目および各学部のガイダンスには必ず出席してください。

人文社会科学部	I-a、I-b、I-c、I-d	8単位
教育学部	A-1、A-2	4単位
理学部	A-1、A-2	4単位
情報学部	A-1、A-2	4単位

(農学部は2年次からの選択科目として履修、工学部の科目はありません)

クラスについては、初修外国語に関する「選択申請書」に基づきクラス分けを行います。

◎前学期履修コース・クラス分け揭示日程

日時	平成24年4月6日(金)15時
揭示場所	静岡キャンパス：共通教育B棟揭示板 浜松キャンパス：合同棟2号館南側教養教育揭示板

(b) 1年生の選択科目は、情報学部(B-a、B-b)のみです。受講希望者は前・後学期の初回の授業時に担当教員に申し出てください。

(c) 情報学部以外の選択科目は2年次からはじまります。これも学部・学科によって履修方法が異なりますので、全学教育科目および各学部のガイダンスでよく理解してください。

(d) 第3外国語の履修について

2、3、4年次生が2つ目の初修外国語を履修したい場合は、授業の時に担当教員に申し出てください。クラス人数に余裕があれば履修可能です。ただし、卒業要件単位にはなりません。

(3) 健康体育

健康体育科目には、1年次から履修できる(工学部は3年次から)実技+講義の「健康体育I(前学期)」「健康体育II(後学期)」と、2年次から履修できる実技を主とした「スポーツI(前学期)」「スポーツII(後学期)」があります。学部・学科によって履修形態が異なりますので、授業科目一覧表を参照してください。

(a) 健康体育の履修およびクラス分けについて

「健康体育I」「健康体育II」を履修する1年生は、第1回目の授業でガイダンス、履修受付およびクラス分けを行いますので、学部学科ごとに指定された時限に体育館(静岡は体育館柔道場)へ集合してください。指定された時限以外の履修はできません。

「健康体育I」「健康体育II」を履修する2年生以上は、健康体育が開講されているいずれかの時限を自由に選んで、第1回目の体育館でのクラス分けに参加してください。1年生と同じ扱いでクラス分けに参加できます。

クラスサイズは1クラス40名前後を基本としますが、もしも希望者多数の場合はその場で抽選を行います。原則として、「優先シール」使用者を優先しますが、諸般の事情で、シール使用者よりも他の受講生を優先させる場合があります。

第1回目のクラス分けを欠席した受講希望者のうち静岡キャンパスの学生は、後日、健康体育共同研究室(共通教育D棟3階)を訪ねてください。浜松キャンパス

の学生には、後日、履修案内を掲示します。余裕のあるクラスに入ることができません（クラス選択はできません）。

(b) スポーツの履修およびクラス分けについて

「スポーツ I」「スポーツ II」を履修する 2 年生以上は、第 1 回目の授業でガイダンス、履修受付およびクラス分けを行いますので、体育館に集合してください。

クラスサイズは 1 クラス 40 名以内を基本としますが、もしも希望者多数の場合はその場で抽選を行います。原則として、「優先シール」使用者を優先しますが、諸般の事情で、シール使用者よりも他の受講生を優先させる場合があります。

第 1 回目のクラス分けを欠席した受講希望者のうち静岡キャンパスの学生は、後日、健康体育共同研究室（共通教育 D 棟 3 階）を訪ねてください。浜松キャンパスの学生は、第 2 回目の授業で直接授業担当教員に相談してください。余裕のあるクラスに入ることができます。

なお、「スポーツ I」「スポーツ II」を履修できるのは、原則として「健康体育 I」「健康体育 II」を 1 単位以上取得している人となります。

(4) 日本語、日本事情

日本語科目については一定以上の日本語力を有していると授業担当者が認定した場合を除いて、6 単位までは原則として留学生全員が履修することとします。なお、日本語科目の履修を希望しない場合は、必ず授業担当者の認定を受けてください。

11 学外での授業の履修について

静岡大学以外の教育施設で受講し、単位が認定されるものとして、留学、共同授業、連携講義、放送大学があります。詳細は掲示等でお知らせします。

(1) 留学

朝鮮大学校サマースクールの韓国語研修を受講し、最終試験に合格、修了証明書を授与された場合は、現代韓国語の 1 科目 2 単位として認定します。

出願期間は 4 月から 5 月で、留学期間は 8 月（3 週間）です。

(2) 共同授業

静岡県西部地域の 9 大学（静岡大学、浜松医科大学、静岡文化芸術大学、浜松大学、聖隷クリストファー大学、浜松学院大学、浜松学院大学短期大学部、静岡理工科大学、静岡産業大学）が協力して行う共同授業を 2 年次以降に受講し、修得した単位については、その授業科目を学際科目 2 単位として認定します。

出願期間は 7 月で、開講期間は 10-12 月です。

(3) 連携講義

静岡県内 4 高等教育機関（静岡大学、浜松医科大学、静岡県立大学、国立遺伝学研究所）が連携して行う連携講義を 2 年次以降に受講し、修得した単位については、その授業科目を学際科目 2 単位として認定します。

出願期間は 9 月で、開講期間は 10-12 月です。

(4) 放送大学

放送大学の特別聴講学生として放送大学の講義を受講し、単位認定試験に合格した場合は、教養科目として読替えて単位を認定します。

出願期間は 1 月（前学期分）および 7 月（後学期分）です。

12 学務情報システムの利用について

学務情報システムにはさまざまな機能がありますが、ここでは「学務情報システムへのアクセス、ログイン」、「履修登録」の方法、「成績の参照」や「単位修得情報の参照」、「カリキュラム参照」等の機能を利用するための操作方法を説明します。他にも「時間割関連」の機能では、個人別の時間割画面が確認できます。

学務情報システムの利用は、**学外（自宅）からもアクセス可能ですが**、学籍情報の参照・更新は学内のネットワークに接続している情報基盤センターの実習室、各学部の情報処理・実習室、研究室等のパソコン、および情報端末コンセントや無線LANを通じて行ってください。情報基盤センター実習室の利用時間等は、履修案内の「情報基盤センターの利用について」(p.57)を参照してください。

「学務情報システム」の操作方法や利用方法等について、疑問や質問がある場合には、各学部の学務(教務)系の窓口にお問い合わせください。ほかに「Q&A一覧」も学務情報システムのトップページから参照できますのであわせてご覧ください。

「学務情報システム」のトップページの「学生向け情報」と「新着情報」を通じて重要なお知らせが表示されますから、必ず参照するようにしてください。

○アクセスの方法

情報基盤センター実習室の端末PCを利用する場合には、最初に実習室端末PCのログイン画面で、情報基盤センターの『アカウント通知書』(緑色)に記載された「ユーザID」と「パスワード」によりログインします。デスクトップ画面に学務情報システムへのショートカットアイコンが設定してあります。URLを直接入力する場合は以下のアドレスになります。

<https://gakujo.shizuoka.ac.jp> **https**となっていますので注意してください。

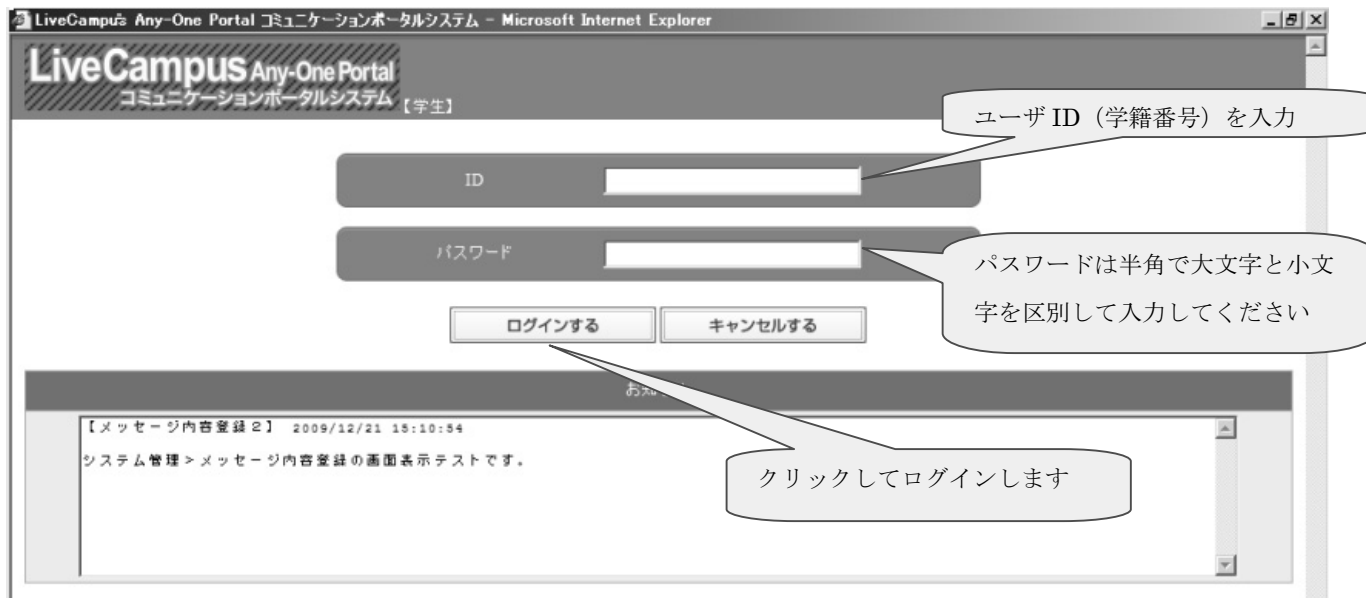
この画面には学務情報システムの運用に関する全学的あるいは学部毎のお知らせ情報が表示されます。



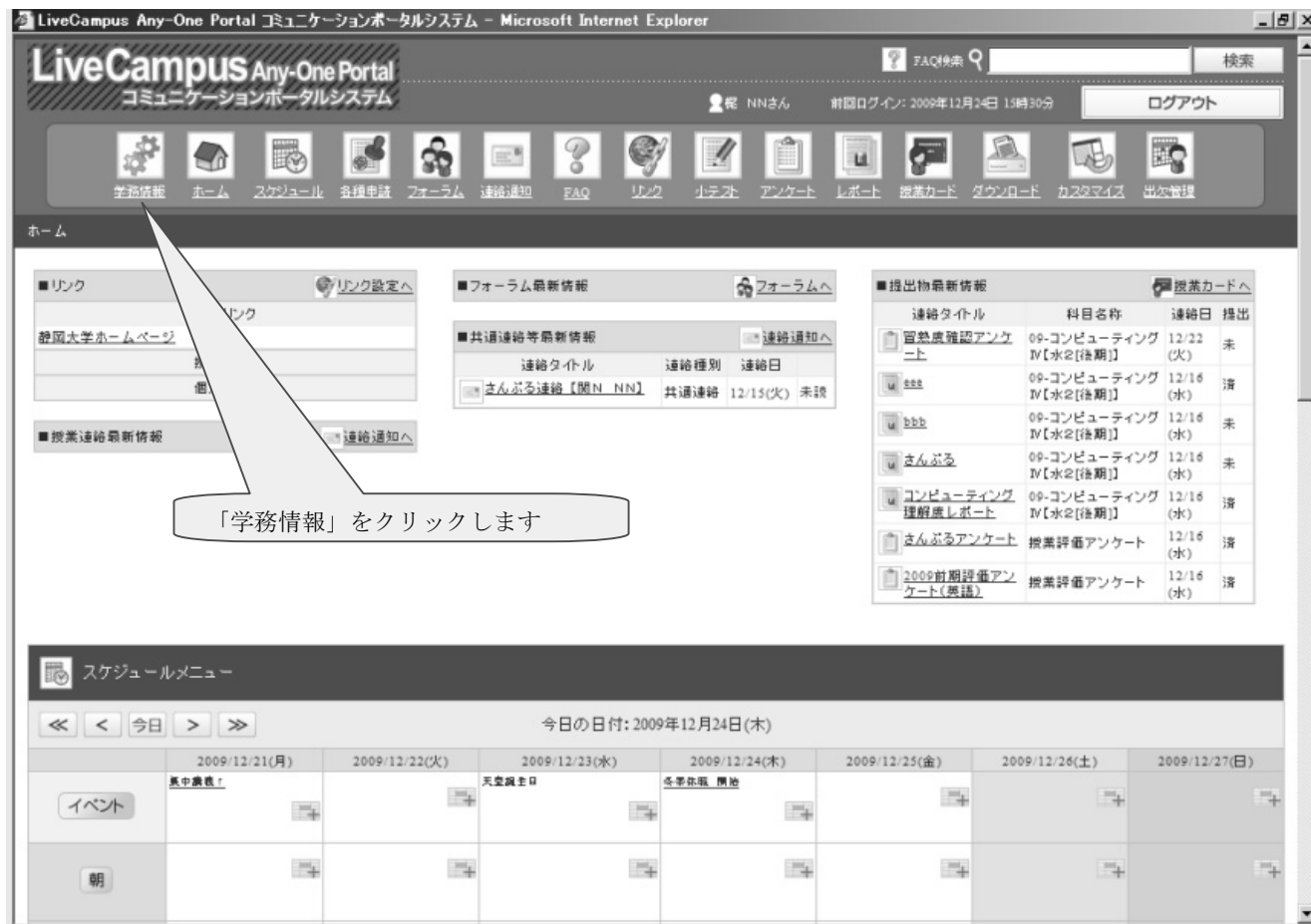
次に画面左に並んでいる「Entrance For Students」をクリックして**ログイン**します。

○ログイン

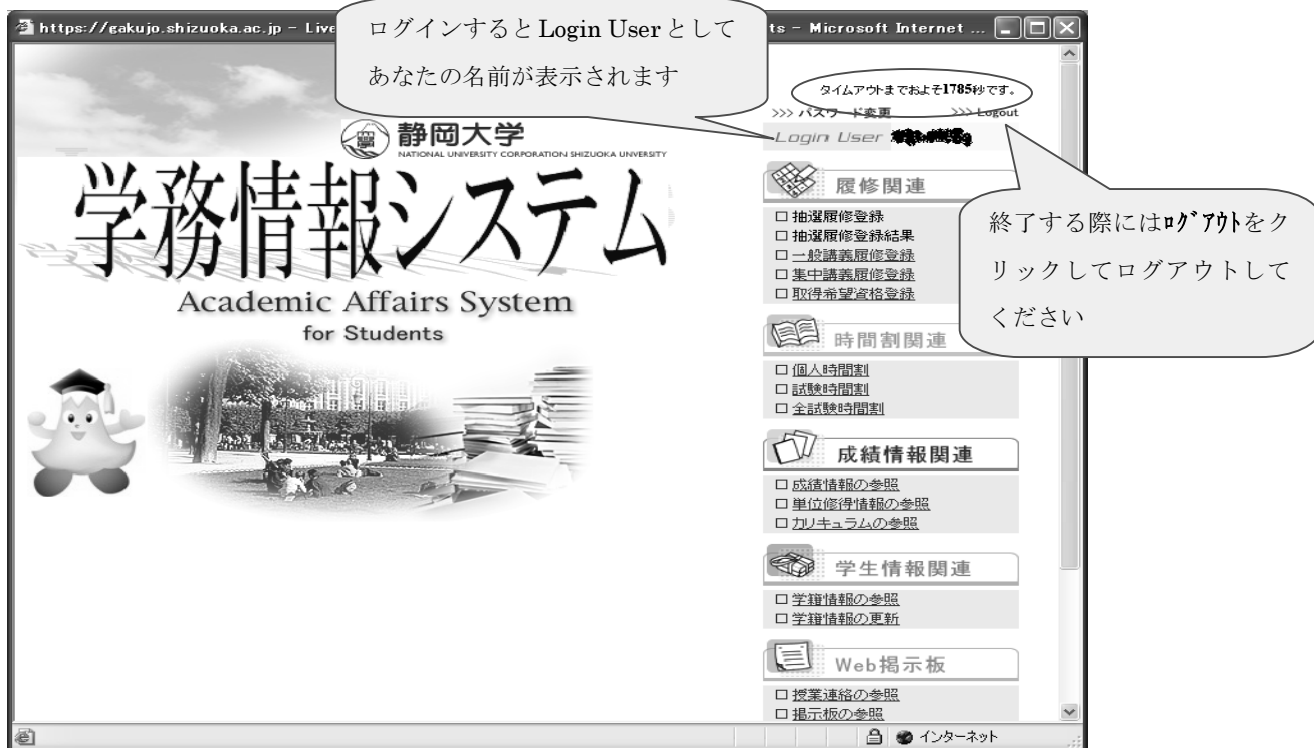
IDとパスワード入力画面で、情報基盤センターの『アカウント通知書』とは別に配布された、ピンク色の学務情報システムの『アカウント通知書』に記載されている「ユーザID」と「パスワード」を入力してログインするとシステムのトップページに遷移します。



ログインすると次の画面が表示されます。



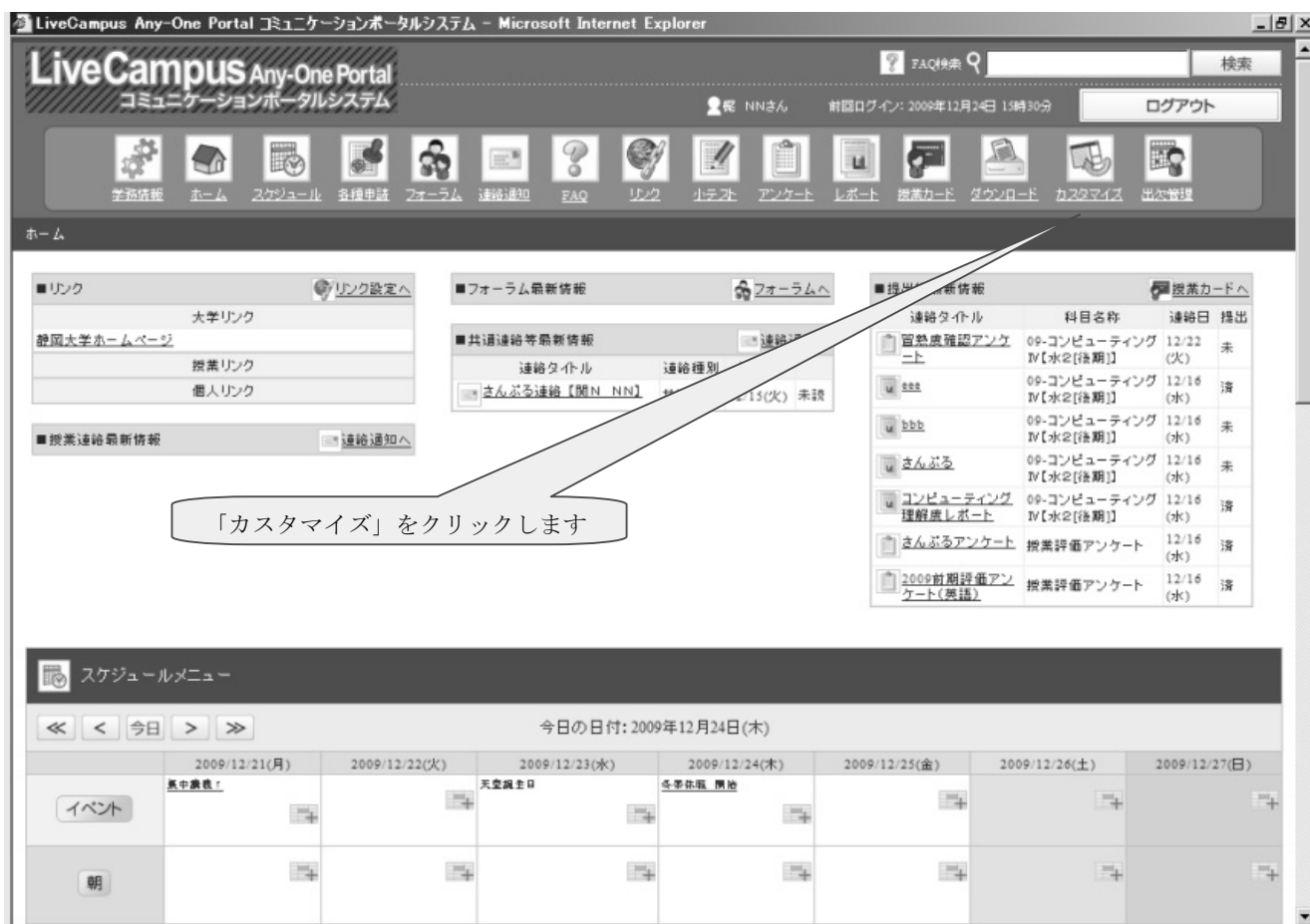
次に画面左上の「学務情報」のリンクをクリックします。



※ログインしますと、学籍情報に登録されているメールアドレス2に「〇月〇日〇時〇分にあなたのIDで学務情報システムにログインしました。」という内容のメールが送信されます。

○パスワードの変更

パスワードについては、セキュリティ面を考慮して120日ごとに変更してください。



授業支援システムのトップページで画面右上の「カスタマイズ」のリンクをクリックします。

ログインすると次の画面が表示されます。

LiveCampus Any-One Portal コミュニケーションポータルシステム

検索

NNさん 前回ログイン: 2010年1月4日 11時12分 ログアウト

学籍情報 ホーム スケジュール 各種申請 フォーラム 連絡通知 FAQ リンク 小ネタ アンケート レポート 検索カード ダウンロード カスタマイズ 出欠管理

ホーム > カスタマイズメニュー

カスタマイズ > カスタマイズメニュー

ホームへ戻る

デザイン設定
メニュー設定
トップページ設定
連絡期間設定
お気に入りフォーラム設定
パスワード変更

「パスワード変更」をクリックします

ホームへ戻る

次に「パスワードの変更」をクリックします。

LiveCampus Any-One Portal コミュニケーションポータルシステム

検索

NNさん 前回ログイン: 2010年1月4日 11時12分 ログアウト

学籍情報 ホーム スケジュール 各種申請 フォーラム 連絡通知 FAQ リンク 小ネタ アンケート レポート 検索カード ダウンロード カスタマイズ 出欠管理

ホーム > カスタマイズメニュー > パスワード変更

カスタマイズ > パスワード変更

メニューへ戻る

パスワード設定時の注意点

① 10から容易に類推できるパスワードは設定しないでください。

② 新しいパスワードは古いパスワードと0文字以上異なるようにしてください。
(アルファベットが2文字以上、数字もしくは記号が1文字以上異なるようにしてください。)

③ 個人が特定できる情報や、辞書に載っている単語、他の人が類推できる言葉は使用しないでください。
例：学籍番号、氏名、電話番号、誕生日、人名、地名、会社名、製品名、アイドル関連、
鉄道関連、アニメ関連、キーボードの配列 (qwertyui など) など。

パスワード設定

旧パスワード ※

新パスワード ※

新パスワード(確認用) ※

登録する

※半角8文字。
※アルファベット2文字以上、数字もしくは記号1文字以上を含めてください。
※アルファベットに大文字と小文字を混ぜて入力してください。
※IDと異なるものを入力してください。
※以下の記号は新パスワードに使用できません。
! : .
※確認のため新パスワードをもう一度入力してください。

次に「旧パスワード」・「新パスワード」・「新パスワード（確認用）」を入力し、「登録する」をクリックします。

注) 変更したパスワードは忘れないようにしてください。

パスワードの管理には十分注意してください。

- 情報基盤センター実習室端末PCのログイン用のアカウントと同じではありません。
- パスワードを忘れてしまった場合は**所属学部の学務(教務)系の窓口**へ申し出てください。
- パスワードの設定には個人が特定できる情報や辞書に載っている単語、他の者が推測できるような言葉は使用しないでください。
- パスワードは記号を使わず、英数字のみにしてください。
- アカウント通知書に記載してありました「不正アクセス行為の禁止等に関する法律」をこの説明の最後に掲載していますのでご確認ください。

○学籍情報の登録更新

登録されている学籍情報を更新します。休講等のお知らせ情報が通知されるメールアドレス2、住所、電話番号等を入力してください。更新しますと「メールアドレス2」宛に更新通知メールが送信されます。受信できれば学籍情報の更新画面でメールアドレス2に登録したメールアドレスが正しかったことが確認できます。

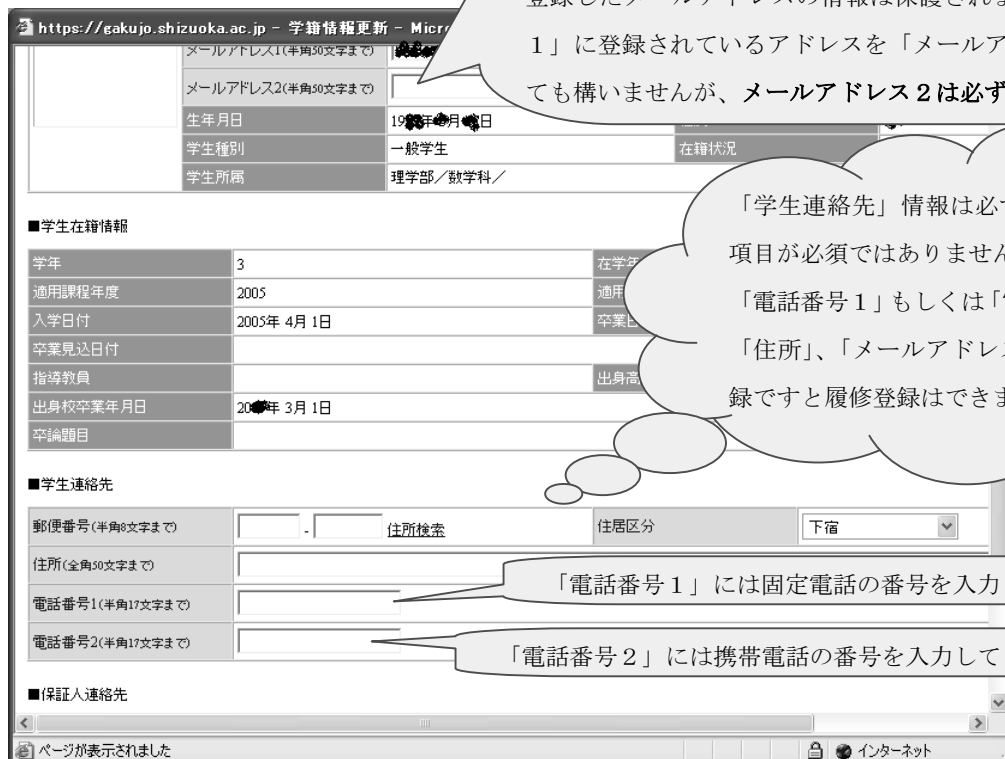
履修登録の際に学籍情報の必須項目が未登録ですと履修登録の画面が表示できません。

住所や電話番号が変更になった場合はその都度更新してください。

「メールアドレス2」には学務情報システムから通知される休講等のお知らせ情報が配信されます。常に受信する携帯電話等のメールアドレスを入力して下さい。「メールアドレス1」には大学側で付与したメールアドレスが登録されています。

登録したメールアドレスの情報は保護されます。「メールアドレス1」に登録されているアドレスを「メールアドレス2」にコピーしても構いませんが、**メールアドレス2は必ず入力してください。**

項目名が緑色の学籍情報を更新します



「学生連絡先」情報は必ずしも全ての項目が必須ではありませんが、「電話番号1」もしくは「電話番号2」、「住所」、「メールアドレス2」が未登録ですと履修登録はできません。

「電話番号1」には固定電話の番号を入力してください

「電話番号2」には携帯電話の番号を入力してください

○履修登録

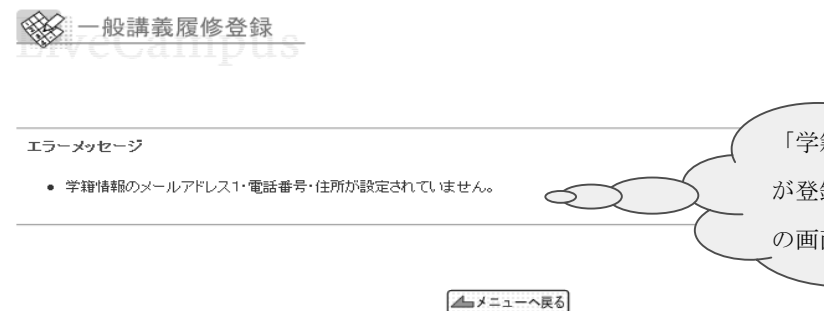
履修関連メニューには、「抽選履修登録」、「抽選履修登録結果」、「一般講義履修登録」、「集中講義履修登録」、「取得希望資格登録」があります。「一般講義履修登録」は前学期（前学期分と通年分）及び後学期毎に予め決められた履修登録期間に行い、「集中講義履修登録」は各学部の集中講義履修登録期間中に行います。「取得希望資格登録」は教員免許等の取得を希望する場合に登録します。



「一般講義履修登録」をクリックします。
クリックしますと次の画面が表示されます。



注) 学籍情報の登録更新の説明にもありますが、メールアドレス2は必ず入力してください。



「学籍情報の更新」で必須項目が登録されていない場合にはこの画面が表示されます。

履修登録期間外に登録しようとするとの画面が表示されます。

病気等の理由により履修登録期間を過ぎてから履修登録する場合は、履修計画表に履修登録する科目を記入して所属学部の学務(教務)系の窓口へ提出してください。職員が代行登録します。



○履修登録画面

最初は各曜日・時限のコマ（授業時間の単位で1コマは90分間の授業時間を表す）に何も表示されていない状態になりますが、事前に外国語のクラス指定科目や必修科目等は登録されています。事前に登録されている科目も含めて履修登録期間中であればいつでも追加・修正は可能です。

他学部の専門科目も履修登録できますが、担当教員の許可を得てから学務(教務)係窓口にて「他学部授業履修届」を提出してください。

<履修登録の方法>

1. 履修登録の際は、授業概要（シラバスと呼ぶ）、時間割、履修の手引き等により、予め履修登録する科目を「履修計画表」に記入しておきます。
2. 開講曜日時限（コマ）の鉛筆ボタンをクリックして講義検索画面から該当するコマに開講されている科目を検索し、その中から履修登録する科目を選択して登録します。
3. 上記の処理を履修登録するすべての科目に対して繰り返し行います。各コマに科目が表示されればその時点で登録済みになります。最後に全体の科目を一括登録するボタンはありません。
4. 最後に「確認メール」をクリックするとメールアドレス2に履修登録科目の内容が配信されます。

項目名	種類	説明
①一括履修	ボタン	必修科目を一括して履修登録できます。
②修得済科目	ボタン	単位修得科目を一覧表示します。
③確認メール	ボタン	登録されているメールアドレス2に履修確認メールを送信します。
④読替表	ボタン	全学共通の読替表がPDFファイルで参照できます。

⑤印刷	ボタン	履修登録した科目の履修確認表を出力します。
⑥科目名検索	ボタン	履修登録する科目を検索します。
⑦コマ	表示	履修登録中の科目を表示します。 空白：履修中の科目がないコマ（曜日時限）です。 黄色：履修登録済みの科目です。取り消したり追加することができます。半コマ科目（1時限のみ）の場合は同一コマに登録することが可能です。クォータ科目の場合、前半と後半の組み合わせであれば同一コマ内に登録することが可能です。 橙色：履修確定している科目です。取り消すことはできません。
⑧鉛筆／設定	ボタン	該当するコマに開講科目を検索・登録します。講義検索画面が表示されますので、検索条件を設定して履修登録したい科目を検索・登録します。
⑨消しゴム	ボタン	履修登録科目を取り消します。科目の登録をやり直す場合は該当コマに消しゴムボタンをクリックして登録済みの科目を削除します。
⑩授業科目名	クリック	授業科目名をクリックすると科目詳細画面が表示されます。
⑪戻る	クリック	全ての履修科目の登録が完了した場合や途中保存する場合にクリックします。

○講義検索画面



月曜日 1・2限

検索条件を選択して、検索ボタンをクリックしてください。

学部／研究科	人文学部
学科・課程／専攻	経済学科
コース・専攻等	経済と政策コース
学年	2年
科目区分	▼選択してください
必修選択区分	▼選択してください

① 検索

初期画面には、自分の所属学部・学科・コース・学年が表示されます

科目区分欄および「必修選択区分」欄は、「選択してください」のままで「検索」ボタンをクリックしてみてください。再履修科目、教職科目、他学科の科目も検索できますが、上位学年の科目は履修登録できません

なお、単位が修得できている科目は科目名が検索できません（重複受講不可）。

登録したい科目を選択して、登録ボタンをクリックしてください。

閉じる

② 登録

授業科目名をクリックするとシラバス（授業概要）が参照できます

③

	科目名(クラス名)	担当教員	単位数	曜日	時限	講義室
<input type="radio"/>	日本語Ⅰ(人教理農)		2	月	1・2限	共L203
<input type="radio"/>	経済英語Ⅰ(人文専門1A)		2	月	1・2限	共P101

項目名	種類 (桁数)	説明
①検索	ボタン	講義を検索します。
②登録	ボタン	チェックされている科目を履修登録します。コマ欄に科目名、担当教員名、必修選択区分、単位数、教室名が表示されます。
③チェック	チェック	登録したい科目にチェックを入れます。

○取得希望資格登録画面

学務情報システムでの取得希望資格の登録は、教職履修カルテへの希望免許種の表示や単位取得状況確認画面（一部の学部を除く）に利用されます。

- 「取得希望資格登録」の画面を開き、右側の資格一覧から希望資格を選んで左側に移動、「確認」ボタンを押して確定させます。
- システムへの登録期間は学部により異なります。期間外の止むを得ない登録・修正は各学部の学務係にご相談ください。

○教職履修カルテ登録画面

教員免許状取得希望者は、4年次に開講される「教職実践演習」に使用する「教職履修カルテ」を作成する必要があります。教職履修カルテは教職に関する科目の必修や教科教育法などを対象とし、それぞれの科目で「学んだことと課題」と「自己評価」を入力します。

授業の種類	授業科目名	単位	年度	教員名	評価	必要な能力の指標	学んだことと課題	自己評価
教職科目	教職入門	2	2010	教務 太郎	優	教員の役割、職務内容、子どもに対する責務の理解		
	教育原理	2	2010	教務 太郎	可	教育の理念、歴史、思想についての理論知識の習得	教師としての立場や、教えることの難しさ、魅力を感じ	
	教職実践演習	2	2010	教務 太郎	優	教職への意欲と態度、学習指導、児童の理解と生活指導	[教師のコメント]	

カルテを入力する時期

《履修登録》

対象となる教職科目の履修が確定した時点からカルテの入力が可能になります。

《授業終了》

授業終了後速やかに学んだことと課題・自己評価欄を記入します。内容は当該授業の評価には影響しません。

《各年度末》

各科目のカルテは授業開講の年度内であれば修正可能です。締切り後はシステムからの編集ができません。

○成績情報参照画面

- 履修関連
 - 抽選履修登録
 - 抽選履修登録結果
 - 一般講義履修登録
 - 集中講義履修登録
 - 取得希望資格登録
- 時間割関連
 - 個人時間割
 - 試験時間割
 - 全試験時間割
- 成績情報関連
 - 成績情報の参照
 - 単位取得情報の参照
 - カリキュラムの参照
- 学生情報関連
 - 学籍情報の参照
 - 学籍情報の更新
- Web掲示板
 - 授業連絡の参照
 - 掲示板の参照
- その他
 - シラバス参照
 - 学内スケジュール

「成績情報の参照」をクリックしますとこの画面が表示されます

「科目名」等の項目名をクリックすると並び順を変更できます。

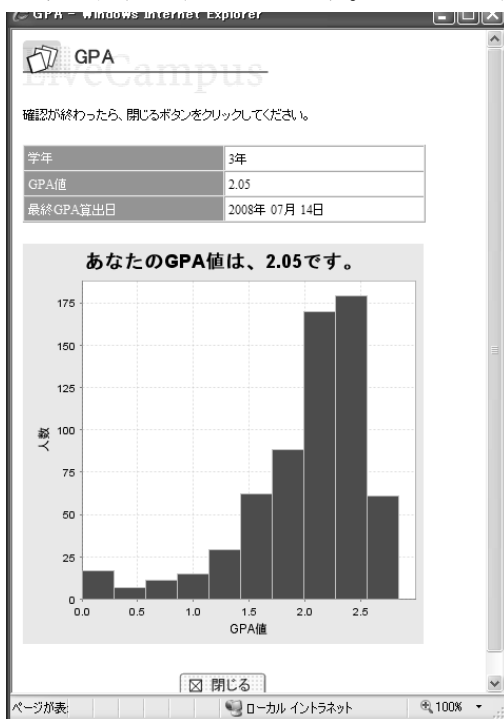
G P A 年別単位

科目名	担当教員名	科目区分	必修選択区分	単位	評価	取得年度	報告日
新入生セミナー		新入生セミナー...	選択	2		2007	2007-09-06
情報処理		情報処理	選択	2		2007	2007-09-06
TOEIC演習SE		実用英語 1...	選必	2		2007	2007-09-06
ドイツ語 I - a		初修外国語	選必	2		2007	2007-09-06
ドイツ語 I - b		初修外国語	選必	2		2007	2007-09-06
健康体育 I		健康体育	選択	1		2007	2007-09-07
キャリアデザイン		キャリア形成...	選択	2		2007	2007-09-06
選択英語A		実用英語 選...	選択	2		2007	2007-09-06

GPAについて

本学ではGPA制度を導入しています。成績情報参照画面の中のGPAボタンをクリックしますと以下のような画面が表示されます。GPAの取組は、大学教育センターWEBサイトから確認できます。

<http://www.hedc.shizuoka.ac.jp/>



※GPA制度：Grade Point Average アメリカで一般的に行われている学生の成績評価方法の一つで、学生の履修登録科目の成績の平均を数値で表す制度です。厳格な成績評価を実施することが目的ですが、GPA制度は学生の勉学を動機付け励ます制度として利用されるものです。

※GPA計算式

GP・・・各科目の成績評点をつぎの式で変換した値を各科目のグレードポイント(GP)と呼びます。

$GP = (\text{成績評点} - 55) / 10$ (ただし $GP < 0.5$ は $GP=0.0$ とする)

GPA(グレードポイントアベレージ)・・・履修した各科目のGPにその科目の単位数を乗じた値の合計値を履修総単位数で除した値になります。

$GPA = \sum (GP \times \text{当該科目の単位数}) / \text{履修総単位数}$

- ※ 成績は授業担当教員が成績報告を行った後に所属学部の担当者が「公開」の状態に設定した科目のみ参照可能になります。
科目読替及び余剰単位振替等に対応した「成績通知表」は画面から出力できます。(公開されている成績のみ)

○単位修得情報・カリキュラム参照画面

「未修得必修」をクリックしますと未修得科目名と単位数が確認できます

単位数は要件区分毎の集計値になります。余剰単位の他の科目区分への振替えは考慮されていません。履修登録単位数と修得済単位数を合計しても、必要要件単位数に満たない場合には赤色表示されます。

選択した要件の必要単位数、取得単位数、履修単位数が表示されますので要件を満たすかどうかの目安になります

「単位修得情報の参照」をクリックするとこの画面が表示されます。(注) 指定学部以外はこの画面が表示されません

科目名	単位数
位相級学入門	
関数級学入門	2
代数学	2
幾何学	2
解析学	2
複素解析学	2
数理論理学	2

「カリキュラムの参照」をクリックしますとこの画面が表示されます
自分の所属する学科・コースのカリキュラムが確認できます

▼ 選択してください
▼ 選択してください
 新入生セミナー
 情報処理
 実用英語 1年次
 実用英語 選択
 初修外国語
 健康体育
 キャリア形成科目
 個別分野 選択
 個別分野 自然
 学際科目
 日本語
 日本事情
 専門科目学部共通
 専門科目 選必A
 専門科目 必修
 専門科目 選択
 専門科目 自由
 実用英語 2年次
 教職教養科目
 教職科目

学年	科目番号	科目名	科目区分	必修選択区分	単位
1	16000001	新入生セミナー	新入生セミナー	選択	2
1	16010001	情報処理	情報処理	選択	2
1	16020001	英会話PE	実用英語 1年次	選必	2
1	16020002	TOEIC演習PE	実用英語 1年次	選必	2
1	16020003	英語演習RD I	実用英語 1年次	選必	2
1	16020004	応用英語 I	実用英語 1年次	選必	2
1	16021001	TOEIC演習SE	実用英語 1年次	選必	2
1	16021002	総合英語	実用英語 1年次	選必	2
1	16021003	選択英語A	実用英語 選択	選択	2
1	16021004	選択英語B	実用英語 選択	選択	2
1	16030001	ドイツ語 I - a	初修外国語	選必	2

○レポート提出

授業支援システムのトップページの提出物最新情報で授業担当教員からレポートを課せられたのを確認したら、「レポート」のリンクをクリックします。

LiveCampus Any-One Portal コミュニケーションポータルシステム

検索

FAQ検索

ログアウト

前回のログイン: 2010年1月20日 14時11分

NNさん

ホーム

リンク設定へ

リンク

大学リンク

静岡大学ホームページ

授業リンク

個人リンク

フォーラム最新情報

フォーラム

共有連絡等最新情報

共有連絡

提出物最新情報

授業カードへ

連絡タイトル	科目名称	連絡日	提出
レポート課題	09-コンピューティングⅣ【水2 【後期】	01/20 (水)	未

レポート課題の確認

「レポート」をクリックします

スケジュールメニュー

今日の日付: 2010年1月20日(水)

	2010/01/18(月)	2010/01/19(火)	2010/01/20(水)	2010/01/21(木)	2010/01/22(金)	2010/01/23(土)	2010/01/24(日)
イベント				09-コンピューティングⅣ			
朝							

次にレポート機能の個人時間割に遷移しますので、レポートを課せられた「授業科目」をクリックします。

LiveCampus Any-One Portal コミュニケーションポータルシステム

検索

FAQ検索

ログアウト

前回のログイン: 2010年1月20日 14時11分

NNさん

ホーム > 個人時間割

レポート ▶ 個人時間割

ホームへ戻る

開講年度: 2009 開講学期: 後期 切替

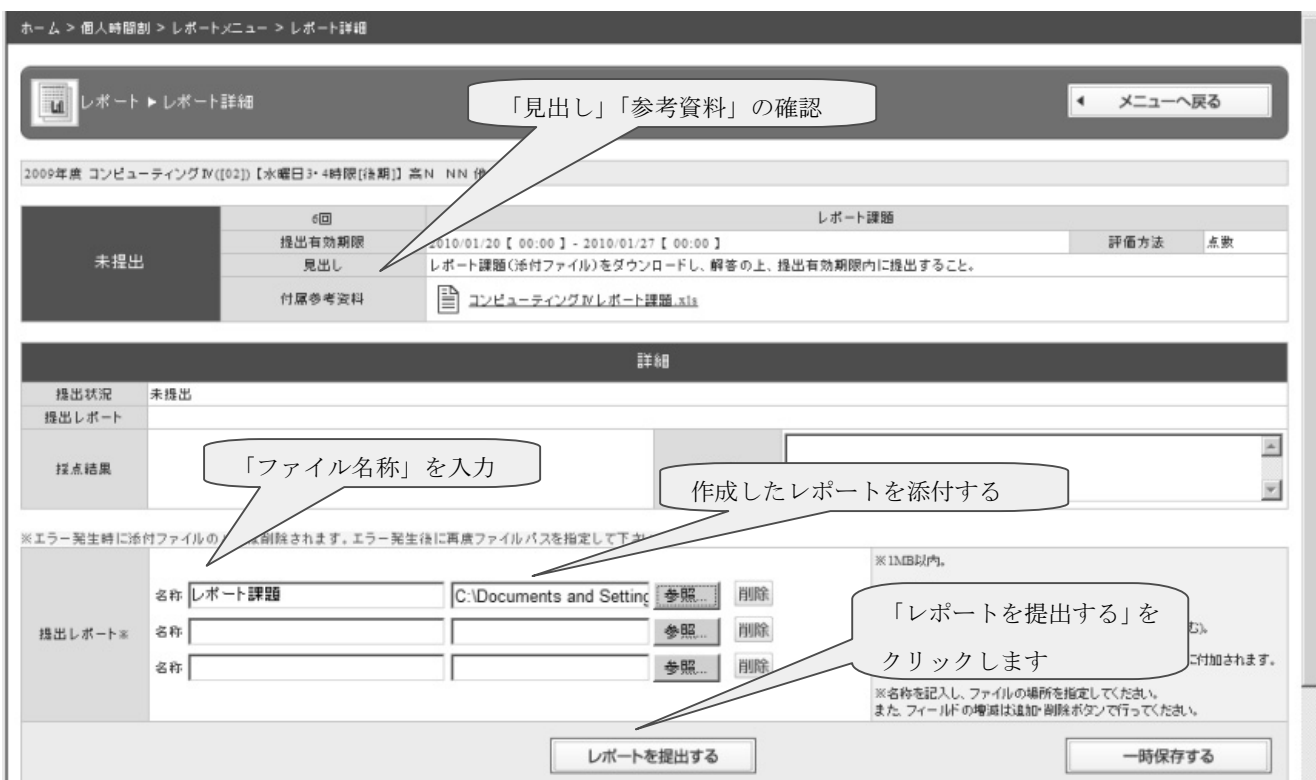
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1・2時限					
3・4時限			コンピューティングⅣ(1021) 高N NN 他		
5・6時限					

レポートを課せられた「授業科目」をクリックします

次にレポート一覧に遷移しますので、受付状態が「受付中」の「タイトル」をクリックします。



次にレポート詳細画面に遷移しますので、見出し及び付属参考資料を確認し、レポートを作成してください。



レポートを作成したら、レポート詳細画面で提出レポート欄にファイルの名称を入力し、参照ボタンで作成したレポートを添付（ダブルクリック）し、「レポートを提出」をクリックしてください。（レポートは、複数のファイルを添付可能です。）

次にレポート一覧画面に遷移しますので、提出状況が「提出済み」を確認してください。



○レポート差し替え

提出したレポートは、提出有効期限内で授業担当教員が採点していなければ、差し替えが可能です。

レポート一覧画面で、受付状態が「受付中」の「タイトル」をクリックし、レポート詳細画面で提出済みレポート詳細欄下部の「取り消す」をクリックします。

ホーム > 個人時間割 > レポートメニュー > レポート詳細

レポート ▶ レポート詳細

2009年度 コンピューティングⅣ(02)【水曜日3・4時限(後期) 高N NN 他

提出済み	回数	レポート課題	評価方法	点数
	提出有効期限	2010/01/20【00:00】 - 2010/01/27【00:00】		
	見出し	レポート課題(添付ファイル)をダウンロードし、解答の上、提出有効期限内に提出すること。		
	付属参考資料	コンピューティングⅣレポート課題.xls		

詳細

提出状況	2010/01/22【14:05】
提出レポート	レポート課題.xls
採点結果	コメント

取り消す

「取り消す」をクリックします

次にレポート一覧画面に遷移しますので、再度、受付状態が「受付中」のタイトル欄の「レポート課題」をクリックし、レポート詳細画面で提出レポートの「削除」をクリックします。

ホーム > 個人時間割 > レポートメニュー > レポート詳細

レポート ▶ レポート詳細

2009年度 コンピューティングⅣ(02)【水曜日3・4時限(後期) 高N NN 他

未提出	回数	レポート課題	評価方法	点数
	提出有効期限	2010/01/20【00:00】 - 2010/01/27【00:00】		
	見出し	レポート課題(添付ファイル)をダウンロードし、解答の上、提出有効期限内に提出すること。		
	付属参考資料	コンピューティングⅣレポート課題.xls		

詳細

提出状況	一時保存中
提出レポート	レポート課題.xls 削除
採点結果	コメント

※エラー発生時に添付ファイルのパスは削除されます。

「削除」をクリックします

提出レポート※

名称	<input type="text"/>	<input type="text"/>	参照...	削除
名称	<input type="text"/>	<input type="text"/>	参照...	削除

※1MB以内。
 ※最大3個。
 ※提出レポートの名称は25文字以内(ファイルの拡張子含む)。
 ※名称にはアップロードされたファイルの拡張子が自動的に付加されます。
 ※名称を記入し、ファイルの場所を指定してください。

次にレポート詳細画面で提出レポート欄にファイルの名称を入力し、参照ボタンで作成した差替レポートを添付（ダブルクリック）し、「レポートを提出」をクリックしてください。

ホーム > 個人時間割 > レポートメニュー > レポート詳細

レポート ▶ レポート詳細 メニューへ戻る

2009年度 コンピューティングIV(02)【水曜日3・4時限(後期)】高N NN 他

未提出	回数	レポート課題	評価方法	点数
	提出有効期限	2010/01/20【00:00】 - 2010/01/27【00:00】		
	見出し	レポート課題(添付ファイル)をダウンロードし、解答の上、提出有効期限内に提出すること。		
	付原参考資料	 コンピューティングIVレポート課題.xls		

詳細

提出状況 一時保存中

提出レポート

採点結果

「ファイル名称」を入力

作成した差替レポートを添付

※エラー発生時に添付ファイルのパスが削除されます。エラー発生後に再度ファイルパスを指定して下さい。

提出レポート※	名称	ファイルパス	参照...	削除
	レポート課題(差し替え)	C:\Documents and Settings	参照...	削除
	名称		参照...	削除
				追加

※1MB以内。
 ※最大3個。
 ※提出レポートの名称は25文字以内(ファイルの拡張子含む)。
 ※名称にはアップロードされたファイルの拡張子が自動的に付加されます。
 ※名称を記入し、ファイルの場所を指定してください。
 また、フィールドの増減は追加・削除ボタンで行ってください。

レポートを提出する 一時保存する

「レポートを提出する」をクリックします

不正アクセス行為の禁止等に関する法律

(目的)

第一条 この法律は、不正アクセス行為を禁止するとともに、これについての罰則及びその再発防止のための都道府県公安委員会による援助措置等を定めることにより、電気通信回線を通じて行われる電子計算機に係る犯罪の防止及びアクセス制御機能により実現される電気通信に関する秩序の維持を図り、もって高度情報通信社会の健全な発展に寄与することを目的とする。

(定義)

第二条 この法律において「アクセス管理者」とは、電気通信回線に接続している電子計算機（以下「特定電子計算機」という。）の利用（当該電気通信回線を通じて行うものに限る。以下「特定利用」という。）につき当該特定電子計算機の動作を管理する者をいう。

2 この法律において「識別符号」とは、特定電子計算機の特定利用をすることについて当該特定利用に係るアクセス管理者の許諾を得た者（以下「利用権者」という。）及び当該アクセス管理者（以下この項において「アクセス管理者等」という。）に、当該アクセス管理者において当該利用権者等を他の利用権者等と区別して識別することができるように付される符号であって、次のいずれかに該当するもの又は次のいずれかに該当する符号とその他の符号を組み合わせたものをいう。

一 当該アクセス管理者によってその内容をみだりに第三者に知らせてはならないものとされている符号

二 当該利用権者等の身体の一部若しくは一部の影像又は音声を用いて当該アクセス管理者が定める方法により作成される符号

三 当該利用権者等の署名を用いて当該アクセス管理者が定める方法により作成される符号

3 この法律において「アクセス制御機能」とは、特定電子計算機の特定利用を自動的に制御するために当該特定利用に係るアクセス管理者によって当該特定電子計算機又は当該特定電子計算機に電気通信回線を介して接続された他の特定電子計算機に付加されている機能であって、当該特定利用をしようとする者により当該機能を有する特定電子計算機に入力された符号が当該特定利用に係る識別符号（識別符号を用いて当該アクセス管理者の定める方法により作成される符号と当該識別符号の一部を組み合わせた符号を含む。次条第二項第一号及び第二号において同じ。）であることを確認して、当該特定利用の制限の全部又は一部を解除するものをいう。

(不正アクセス行為の禁止)

第三条 何人も、不正アクセス行為をしてはならない。

2 前項に規定する不正アクセス行為とは、次の各号の一に該当する行為をいう。

一 アクセス制御機能を有する特定電子計算機に電気通信回線を通じて当該アクセス制御機能に係る他人の識別符号を入力して当該特定電子計算機を起動させ、当該アクセス制御機能により制限されている特定利用をし得る状態にさせる行為（当該アクセス制御機能を付加したアクセス管理者がするもの及び当該アクセス管理者又は当該識別符号に係る利用権者の承諾を得てするものを除く。）

二 アクセス制御機能を有する特定電子計算機に電気通信回線を通じて当該アクセス制御機能による特定利用の制限を免れることができる情報（識別符号であるものを除く。）又は指令を入力して当該特定電子計算機を起動させ、その制限されている特定利用をし得る状態にさせる行為（当該アクセス制御機能を付加したアクセス管理者がするもの及び当該アクセス管理者の承諾を得てするものを除く。次号において同じ。）

三 電気通信回線を介して接続された他の特定電子計算機が有するアクセス制御機能によりその特定利用を制限されている特定電子計算機に電気通信回線を通じてその制限を免れることができる情報又は指令を入力して当該特定電子計算機を起動させ、その制限されている特定利用をし得る状態にさせる行為

(不正アクセス行為を助長する行為の禁止)

第四条 何人も、アクセス制御機能に係る他人の識別符号を、その識別符号がどの特定電子計算機の特定利用に係るものであるかを明らかにして、又はこれを知っている者の求めに応じて、当該アクセス制御機能に係るアクセス管理者及び当該識別符号に係る利用権者以外の者に提供してはならない。ただし、当該アクセス管理者がする場合又は当該アクセス管理者若しくは当該利用権者の承諾を得てする場合は、この限りでない。

(アクセス管理者による防御措置)

第五条 アクセス制御機能を特定電子計算機に付加したアクセス管理者は、当該アクセス制御機能に係る識別符号又はこれを当該アクセス制御機能により確認するために用いる符号の適正な管理に努めるとともに、常に当該アクセス制御機能の有効性を検証し、必要があると認めるときは速やかにその機能の高度化その他当該特定電子計算機を不正アクセス行為から防御するため必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

(都道府県公安委員会による援助等)

第六条 都道府県公安委員会（道警察本部の所在地を包括する方面（警察法（昭和二十九年法律第六十二号）第五十一条第一項本文に規定する方面をいう。以下この項において同じ。）を除く方面にあっては、方面公安委員会。以下この条において同じ。）は、不正アクセス行為が行われたと認められる場合において、当該不正アクセス行為に係る特定電子計算機に係るアクセス管理者から、その再発を防止するため、当該不正アクセス行為が行われた際の当該特定電子計算機の作動状況及び管理状況その他の参考となるべき事項に関する書類その他の物件を添えて、援助を受けたい旨の申出があり、その申出を相当と認めるときは、当該アクセス管理者に対し、当該不正アクセス行為の手口又はこれが行われた原因に応じ当該特定電子計算機を不正アクセス行為から防御するため必要な応急の措置が的確に講じられるよう、必要な資料の提供、助言、指導その他の援助を行うものとする。

2 都道府県公安委員会は、前項の規定による援助を行うため必要な事例分析（当該援助に係る不正アクセス行為の手口、それが行われた原因等に関する技術的な調査及び分析を行うことをいう。次項において同じ。）の実施の事務の全部又は一部を国家公安委員会規則で定める者に委託することができる。

3 前項の規定により都道府県公安委員会が委託した事例分析の実施の事務に従事した者は、その実施に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。

4 前三項に定めるもののほか、第一項の規定による援助に関し必要な事項は、国家公安委員会規則で定める。

第七条 国家公安委員会、総務大臣及び経済産業大臣は、アクセス制御機能を有する特定電子計算機の不正アクセス行為からの防御に資するため、毎年少なくとも一回、不正アクセス行為の発生状況及びアクセス制御機能に関する技術の研究開発の状況を公表するものとする。

2 前項に定めるもののほか、国は、アクセス制御機能を有する特定電子計算機の不正アクセス行為からの防御に関する啓発及び知識の普及に努めなければならない。

(罰則)

第八条 次の各号の一に該当する者は、一年以下の懲役又は五十万円以下の罰金に処する。

一 第三条第一項の規定に違反した者

二 第六条第三項の規定に違反した者

第九条 第四条の規定に違反した者は、三十万円以下の罰金に処する。

附則

13 情報基盤センターの利用について

情報基盤センターは、研究・教育利用を目的とした全学の共同利用施設ですので、学生の皆さんも大いに利用してください。センター実習室の教育用コンピュータは、全学生が利用できるようになっています。浜松キャンパスに浜松オフィス、静岡キャンパスに静岡オフィスがあります。

利用にはセンターから発行された利用者コードとパスワードが必要となりますが、これらは各学部教務から通知されます。

情報基盤センター実習室は、授業で使用している場合を除き、下記の時間帯で利用できます。下記の点に特に注意して、マナーを守って利用してください。

- ① パスワードは他人に分からないようにし、他人に自分の利用者コードを使用させない。
- ② 飲食・喫煙は厳禁です。
- ③ パソコンの設定を教員の指示なく勝手に変更しない。
- ④ 図書館と同じように静粛に学習する場です。

なお、「センター利用について」をよく読んでから利用してください。

※<http://www.ipc.shizuoka.ac.jp/> の「学内専用サイト」をクリックし、「利用案内」の各項をクリックする。

不明な点は、センター管理室にお問い合わせください。

<情報基盤センター実習室一覧>

キャンパス	室名	PC台数	利用時間(平日)	備考
静岡キャンパス	共通教育L棟 実習室1	60	8:30~21:00	調整作業日は利用時間が変更になります。
	共通教育L棟 実習室2	50	8:30~21:00	
	共通教育L棟 実習室3	50	8:30~21:00	休業期間は利用時間の変更と閉鎖になる実習室があります。 休日は終日閉鎖しています。
	共通教育L棟 実習室4	24	8:30~21:00	
	共通教育L棟 実習室5	25	8:30~21:00	
	共通教育L棟 実習室6	50	8:30~17:00	
浜松キャンパス	合同棟実習室1	65	8:30~21:00	
	合同棟実習室2	25	8:30~21:00	
	システム工学棟 306 電子計算機室	100	8:30~21:00	

※授業での利用状況及び利用時間については、情報基盤センターのホームページで確認してください。

14 本学以外の教育施設等における学修の単位認定に関する申合せ*

平成12年 2月 3日 制定
 平成20年 9月 4日 一部改正
 平成22年10月 7日 一部改正
 平成23年11月10日 一部改正

1. Intensive Language Program, University of Nebraska at Omaha (ILUNO)を修了した学生およびアルバータ大学 Visiting Student Certificate Program (VSCP)を修了した学生の申請に基づき、実用英語科目における以下のいずれか2科目4単位として認め、評価は「認定」とする。 **

PE コースに在籍する場合： 英語演習 RD II、応用英語 II
 SE コースに在籍する場合： 応用英語 A、応用英語 B、英会話 SE
 人文社会科学部夜間主コースに在籍する場合： 英語演習 I、英語演習 II

2. 朝鮮大学校サマースクールの韓国語研修を受講し、最終試験に合格、修了証明書を授与された学生の申請に基づき、現代韓国語 II - a、現代韓国語 II - b、現代韓国語 B、現代韓国語 B - a、現代韓国語 B - b、現代韓国語 B - c 及び現代韓国語 B - d のいずれか1科目2単位として認め、評価は「認定」とする。ただし、農学部の学生については、現代韓国語 A - 1 及び現代韓国語 A - 2 のいずれか1科目2単位として認め、評価は「認定」とする。

3. 以下の外部試験において所定のスコアを収めた学生の申請に基づき、実用英語科目における以下に掲げる科目群のうち所定の単位を認め、評価は「秀」とする。 **、***

	「TOEIC 演習」のみ	以下に掲げる科目のうち、いずれか2科目4単位まで	以下に掲げる科目のうち、いずれか4科目8単位まで
実用英語技能検定試験	--	準1級	1級
TOEIC	600点以上	730点以上	875点以上
TOEFL-PBT, TOEFL-ITP	--	550点以上	600点以上
TOEFL-iBT	--	80点以上	100点以上

PE コースに在籍する場合： 英会話 PE、TOEIC 演習、英語演習 RD I、応用英語 I、英語演習 RD II、応用英語 II
 SE コースに在籍する場合： TOEIC 演習、総合英語、応用英語 A、応用英語 B、英会話 SE
 人文社会科学部夜間主コースに在籍する場合： 英語演習 I、英語演習 II

4. 静岡県西部地区「共同授業」を2年次以降に受講し、修得した単位については、その授業科目を学際科目2単位とし、評価は修得した単位の素点を基に評価する。
5. 国公立機関「連携講義」を2年次以降に受講し、修得した単位については、その授業科目を学際科目2単位とし、評価は修得した単位の素点を基に評価する。
6. 放送大学の特別聴講学生として放送大学の講義を受講し、単位認定試験に合格した学生は、受講科目を教養科目として読替えて単位を認め、評価は「認定」とする。なお、授業科目の読替表等詳細は別途指示する。

* この申合せは、平成24年4月1日から実施する。ただし、平成23年度以前に入学した学生については、この申合せにかかわらず、従前のおりとする。

** 申請においては、申請日から2年以内に発行された公式に有効な証明書の提出が必要である。

*** 「TOEIC 演習」の期末試験として行う TOEIC IP テストについては、上記3は適用しない。また、同一基準による認定は1回限りとし、上位基準で追加申請する場合には、既認定単位を合算する。

15 静岡大学全学教育科目規程

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人静岡大学学則(昭和24年12月21日制定)第31条の規定に基づき、大学教育センター(以下「センター」という。)が開設する授業科目(この規程において「全学教育科目」という。)に関し、必要な事項を定める。

(全学教育科目の実施)

第2条 全学教育科目は、全教員の責任と協力の下に全学で行う。

2 前項の全学教育科目に係る教育の企画、運営及び実施については、センターがこれに当たる。

(全学教育科目の区分)

第3条 全学教育科目の区分は、次のとおりとする。

大区分	科目区分	小科目区分
教養科目	基軸教育科目	新入生セミナー
		情報処理
		実用英語
		初修外国語
		健康体育
		フィールドワーク
		キャリア形成科目
	現代教養科目	個別分野科目
		学際科目
	留学生科目	日本語、日本事情
教職等資格科目	教職教養科目	
※NIFEE科目	基礎日本語	
NIFEE教養科目	NIFEE教養	
専門科目	教職等資格科目	教職専門科目Ⅰ
		教職専門科目Ⅱ
		学芸員科目
	理系基礎科目	

※NIFEE(National Interfacing Engineers Education Program、以下「NIFEE」という。)は工学部秋季入学特別プログラムをいう。

(授業科目及び単位数)

第4条 学部ごと対象となる全学教育科目の授業科目及び単位数は、別表Ⅰのとおりとする。

(単位の計算)

第5条 各授業科目の単位は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、当該授業による教育効果及び授業時間外に必要な学修を考慮して、次に定める基準により計算する。

- (1) 講義については、1時間の授業に対して2時間の授業時間外の学修を必要とするものとし、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については、授業の内容により、1時間の授業に対して2時間又は0.5時間の授業時間外の学修を必要とするものとし、15時間又は30時間の授業をもって1単位とする。

- (3) 実験、実習及び実技については、授業の内容により、1時間の授業に対して0.5時間の授業時間外の学修を必要とするときは30時間、授業時間外の学修を要しないときは45時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 講義、演習、実験、実習又は実技のうち、複数の方法の併用により授業を行う場合は、その組み合わせに応じ、次表の学修時間により計算した総学修時間数が45時間となる授業をもって1単位とする。

授業の種類	授業1時間当たりの学修時間
講義	3時間
演習	授業の内容により1.5時間又は3時間
実験、実習及び実技	授業の内容により1時間又は1.5時間

(履修要件)

第6条 学生が履修すべき教養科目の単位数は、別表Ⅱのとおりとし、専門科目は学部規則による。

2 学生は、前項の定めにより授業科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

(履修手続)

第7条 学生は、履修しようとする授業科目を所定の期日までに、所属する学部へ届け出なければならない。

(試験及び単位の認定)

第8条 試験は、学期末又は学年末に行う。学期を単位としない授業科目については、随時行う。

2 授業科目の単位の認定は、試験その他の方法により行う。

3 前条に定める手続を経ない授業科目については、単位の認定を行わない。

4 病気その他やむを得ない事由で試験を受けることのできなかつた者は、センターが別に定める手続により追試験を受けることができる。

(成績評価)

第9条 成績評価は、「秀」、「優」、「良」、「可」及び「不可」の評語で表し、「秀」、「優」、「良」及び「可」を合格とし、「不可」を不合格とする。

2 前項の規定のほか、授業科目によっては、「合」及び「否」の評語で表すことができることとし、「合」を合格とし、「否」を不合格とする。

(入学前の既修得単位等の取扱い等)

第10条 学生が、入学前の既修得単位等の認定等を学部長に願い出たときの教養科目の取扱いは、センターが別に定める。

(編入学等の単位の取扱い)

第11条 編入学、転入学又は再入学を許可された者の教養科目の修得単位の取扱いは、センターが別に定める。

(科目等履修生、聴講生及び特別聴講学生)

第12条 全学教育科目を受講する科目等履修生、聴講生及び特別聴講学生に関し必要な事項は、センターが別に定める。

(補則)

第13条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に必要な事項は、センターが別に定める。

附 則

- 1 この規程は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 静岡大学共通科目規程は、廃止する。
- 3 静岡大学専門科目（基礎）に関する規程は、廃止する。
- 4 平成 17 年度以前に入学した学生については、この規程（第 9 条を除く。）にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 19 年 2 月 14 日規程）

- 1 この規程は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 18 年度以前に入学した学生については、この規程による改正後の静岡大学全学教育科目規程別表 I 及び別表 II の規定（工学部の表を除く。）にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 20 年 4 月 1 日規程）

- 1 この規程は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 19 年度以前に入学した学生については、この規程による改正後の静岡大学全学教育科目規程別表 I の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、人文学部学芸員科目のうち生涯学習概論は、平成 19 年度入学生から適用する。

附 則（平成 21 年 3 月 18 日規程第 4 号）

- 1 この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 20 年度以前に入学した学生については、この規程による改正後の静岡大学全学教育科目規程別表 I 及び別表 II の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 22 年 3 月 10 日規程）

- 1 この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 21 年度以前に入学した学生については、この規程による改正後の静岡大学全学教育科目規程別表 I 及び別表 II の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 22 年度以前に入学した学生については、この規程による改正後の静岡大学全学教育科目規程別表 I 及び別表 II の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 23 年度以前に入学した学生については、この規程による改正後の静岡大学全学教育科目規程別表 I 及び別表 II の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表 I (省略)

別表 II (省略)

16 教養科目の成績評価に関わる指針

平成14年12月5日

制定の目的

授業担当教員（非常勤講師を含む。以下同じ。）が以下の各項目を念頭におき、成績評価の透明性・厳正性の向上に努めることを目的とする。

- 1 成績評価は、授業科目の目的・目標に照らして、その達成度について行われるものである。したがって、各授業科目について、その目的や到達目標を明確にすることが重要である。
- 2 成績評価は、各授業科目の目的・目標に沿って行われるものであるとともに、教養教育全体として円滑かつ効果的に実施されるものでなければならない。
- 3 教養教育の効果を高めるため、厳格かつ説明可能な成績評価を実施する。
- 4 各授業科目の成績評価は、授業担当教員の責任において行う。
- 5 授業担当教員は、履修学生に評価の基準を明確に示したうえで、その基準に沿って評価する。
- 6 同一授業科目の成績評価については、授業担当教員によって成績評価の極端なばらつきが生じないように、分科会は成績評価の基準設定に努める。
特に、学生が選択できないクラス指定の授業科目の成績評価基準については、成績評価方法も含めてできる限り共通化の方向を検討する。
- 7 授業担当教員は、学生の学習意欲の促進や学習指導に努める。
- 8 授業担当教員は、受講生の出席を把握するよう努める。

17 入学前の既修得単位等の取り扱い等について

全学教育科目規程第10条に関する入学前の既修得単位の取り扱いについて、次のように定める。

1 既修得単位の取り扱いの手順

(1) 申請の窓口

学生は、別紙様式第1の書類(※)を学生の所属する学部の窓口へ所定の期日までに提出する。

(2) 審査書類等

教務課は、審査書類及び必要な資料を準備する。

(3) 審査及び協議

① 授業計画実施専門委員会で申請資料を審査する。

審査に際して、専門委員会は必要な場合、認定申請科目に関係する科目部と協議する。

② 専門委員会での審査結果を、大学教育センター会議で承認する。

③ 大学教育センター会議で承認した結果に基づき、大学教育センター長は学生の所属する学部長と協議し、学生の入学前に修得した教養科目の単位認定を決定する。

2 1年次に入学した者で、教養科目の単位認定の対象とすることができる入学前の既修得単位及び認定科目の範囲等は、次のとおりとする。

(1) 次に掲げる教育課程等で修得した単位及び本学の平成17年度以前のカリキュラムで修得した単位

① 大学又は短期大学（本学以外）

② 短期大学又は高等専門学校の専攻科

③ 大学の専攻科（本学以外）

④ 高等専門学校（4・5学年で履修するもので、大学教育に相当する水準を有するものに限る。）

⑤ 専修学校の専門課程のうち修業年限が2年以上のもの（大学教育に相当する水準を有するものに限る。）

上記で修得した科目のうち、教養科目で単位認定する科目は、次のとおりとする。

① 実用英語科目（本学で定める必修の単位分）

ただし、SEコース及び夜間主コースに限る。

② 初修外国語科目（本学で定める必修の単位分）

③ 個別分野科目（本学で定める必修の単位分）

④ 学際科目（本学で定める必修の単位分）

⑤ 健康体育科目（健康体育Ⅰ、健康体育Ⅱ）

⑥ 留学生科目（日本語Ⅰ、日本語Ⅱ、日本語Ⅲ）

⑦ 教職教養科目（教育の原理、発達と学習、教育と社会）

ただし、認定課程を有する大学及び認定課程を有する短期大学（専攻科を含む。）において「教職に関する科目」として修得したものに限る。

(2) 本学の平成18年度以降のカリキュラムで修得した単位

教養科目について修得した科目全部を認定の取扱科目とする。

(3) 「入学前の既修得単位等の単位の認定に関する規程」第2条第2項第5号及び第6号に該当する学修（実用英語検定、TOEIC及びTOEFLの成果の認定）

単位の認定については、「本学以外の教育施設等における学修の単位認定に関する申合せ」の第3項を準用する。（P58参照）

3 本取り扱いは、平成19年度入学者から適用する。

※全学教育科目の申請書は、教務課教務係と工学部教務係（教養教育）にあります。専門科目は所属学部の学務（教務）係に相談してください。

18 編入学等の単位の取り扱いについて

全学教育科目規程第 11 条に関する取り扱いについて、次のように定める。

- 1 3 年次編入の学生について、教養科目の取り扱いを次のようにする。
 - (1) 「編入学の取り扱いに関する申し合わせ」(全学教務委員会平成 6 年 3 月 1 日制定、全学教育企画委員会平成 18 年 7 月 6 日修正)により取り扱う。
 - (2) 上記の取り扱いに関し、学部事務部と教務課が事務的連絡を行い、その内容を授業計画実施専門委員会が検討し、大学教育センター会議へ報告する。
- 2 転入学又は再入学を許可された者の教養科目の取り扱いを次のようにする。

全学教育科目規程第 10 条に関する取り扱いに準じて取り扱う。

19 科目等履修生等の取り扱いについて

全学教育科目規程第 12 条に関する取り扱いについて、次のように定める。

- 1 科目等履修生の取り扱い
 - (1) 全学教育科目に関する受講の審査は、授業計画実施専門委員会が行う。
 - ① 全学教育科目に係る科目等履修生の出願等について、別紙(※)のとおり行う。
 - ② 選考は全学同一期間に行う。

前学期の授業の履修に関して・・・3月中旬(年度により調整)
後学期の授業の履修に関して・・・9月中旬(年度により調整)
 - (2) 納付金(検定料・入学料・授業料)などの事務の処理
 - ① 全学教育科目と学部専門科目の申請者について
検定料を 1 回納入という便宜を図ることから、専門科目に係る学部で取り扱う。
 - ② 全学教育科目のみの申請者について
静岡キャンパス：教務課
浜松キャンパス：工学部教務係(教養教育) } で取り扱う。
 - (3) 履修できる授業科目及び単位数
 - ① 1 年間に履修できる単位数は、10 単位以内とする。
 - ② 受講可能人数は、1 授業科目について 3 名以内とする
 - ③ 全学教育科目のうち、情報処理、英会話 S E、個別分野科目、学際科目、教職教養科目、教職専門科目及び学芸員科目とする。
- 2 聴講生及び特別聴講学生の取り扱い
科目等履修生に準じて行う。
- 3 本取り扱いは、平成 21 年度から適用する。

ただし、記の 1 第 2 項第 2 号については、平成 20 年度から適用する。

※出願要領は、教務課と工学部教務係(教養教育)にあります。

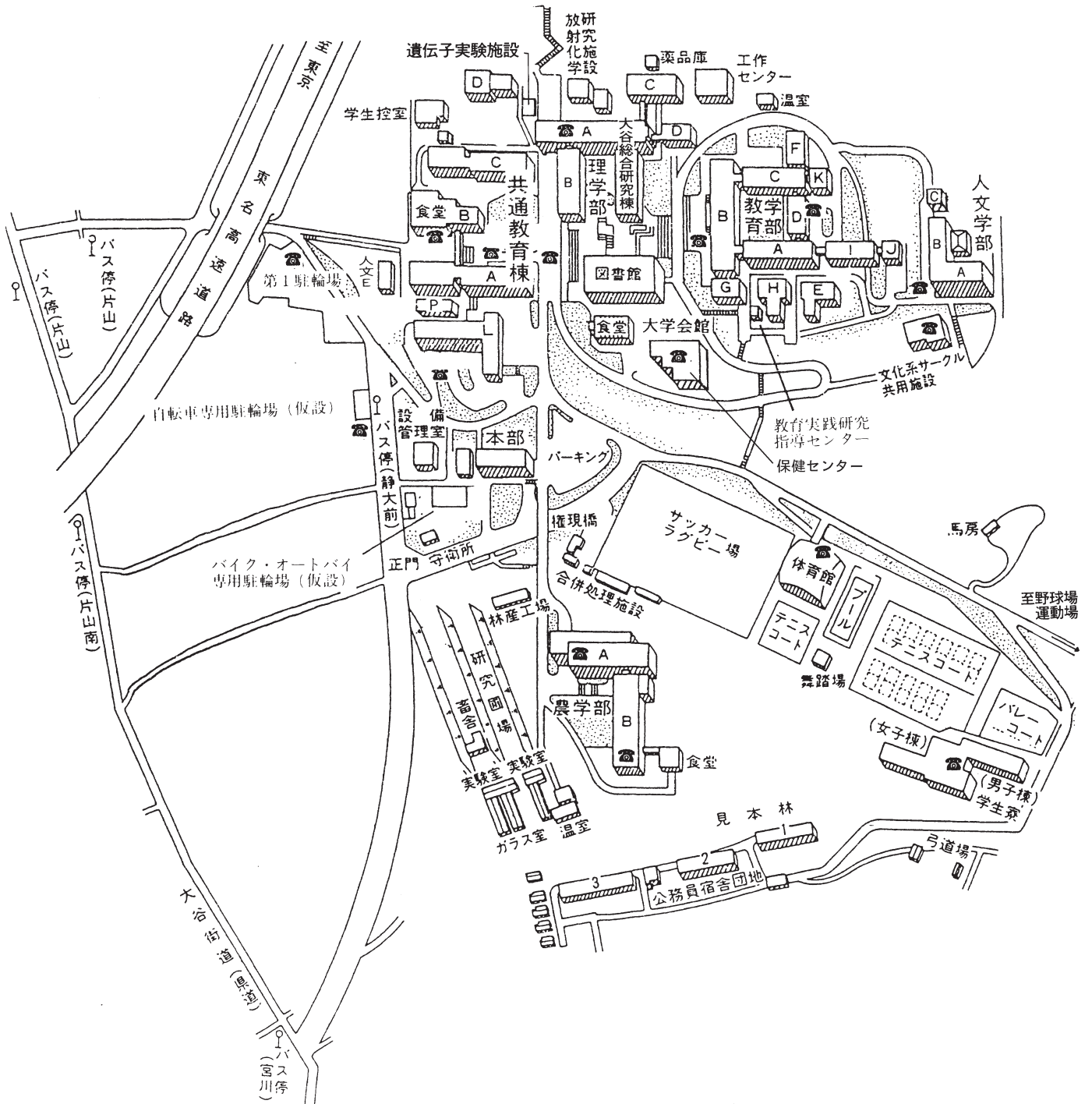
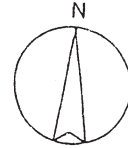
20 静岡キャンパス共通教育棟校舎配置図

静岡大学静岡地区（静岡キャンパス）

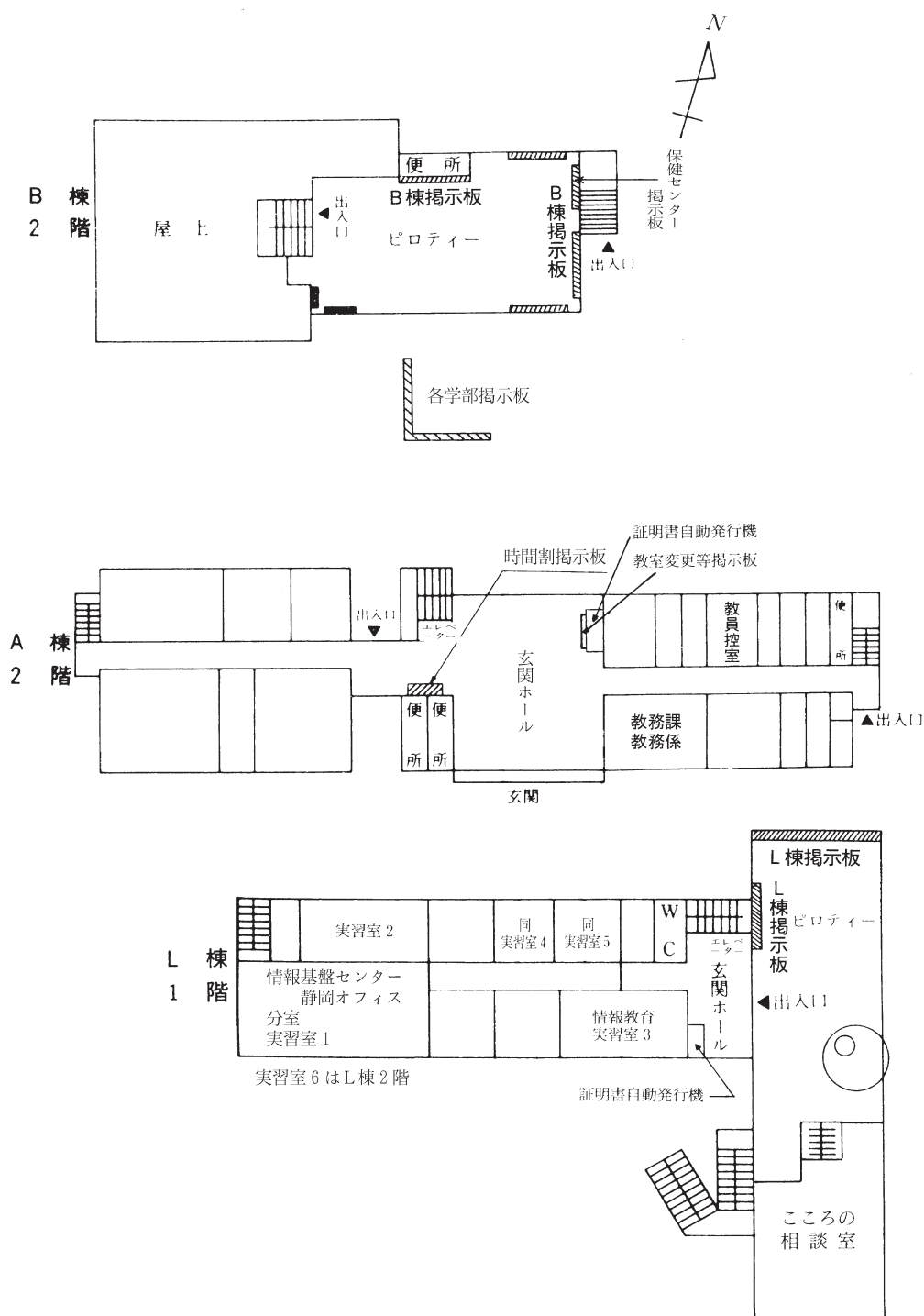
〒422-8529 静岡市駿河区大谷 8 3 6

人文社会科学部
教育学部
理学部
農学部

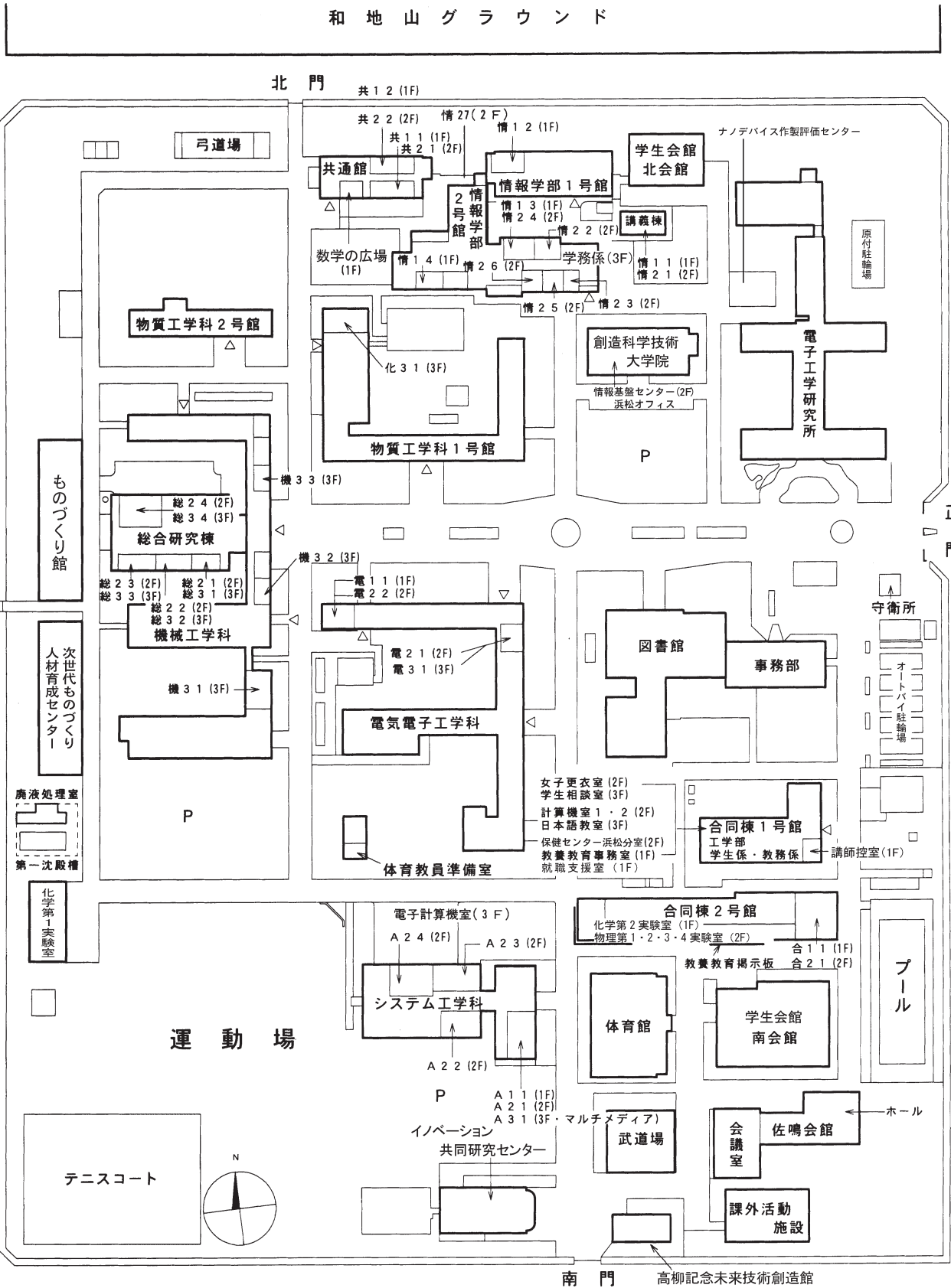
附属図書館
本部
保健センター



21 教務課掲示板的配置図等



22 浜松キャンパス校舎配置図・教室名



23 入学定員表

区 分		入 学 定 員					
		2012年度	2011年度	2010年度	2009年度		
人文社会科学部※	昼間	社会学	75	75	75	75	
		言語文化学	75	75	75	75	
		法経学	90	80	80	80	
		小計	170	180	180	180	
		計	410	410	410	410	
	夜間主	法経学	30	30	30	30	
		小計	30	40	40	40	
		計	60	70	70	70	
		小計	470	480	480	480	
		計	470	480	480	480	
教育学部	学校教育	発達教育学専攻					
		教育実践学専修	12	12	12	12	
		教育心理学専修	12	12	12	12	
		幼児相談学専修					
		小児教育専修	10	10	10	10	
		小計	34	34	34	34	
		教育	情報教育専攻				
			環境教育専攻				
			特別支援教育専攻	22	22	22	22
			障害児教育専攻				
			教科教育専攻				
			小計	22	22	22	22
	養成課程	国語教育専修	33	33	33	33	
		社会科教育専修	33	33	33	33	
		数学教育専修	33	33	33	33	
		理科教育専修	26	26	26	26	
		音楽教育専修	17	17	17	17	
		美術教育専修	17	17	17	17	
		保健体育教育専修	24	24	24	24	
		技術教育専修	13	13	13	13	
		家庭科教育専修	16	16	16	16	
		英	20	20	20	20	
	【地域指定枠】	2	2	2	2		
	【教員養成特別枠】	10	10	10	10		
小計	244	244	244	244			
計	300	300	300	300			
部	生涯教育課程	生涯学習専攻					
		生涯スボ一ソ専攻	20	20	20	20	
		国際理解教育専攻	15	15	15	15	
		小計	35	35	35	35	
		総合科学教育課程	20	20	20	20	
	課程	消費生活科学専攻	10	10	10	10	
		小計	30	30	30	30	
		音楽文化専攻	15	15	15	15	
		美術・デザイン専攻	15	15	15	15	
		書文化専攻	5	5	5	5	
小計	35	35	35	35			
計	400	400	400	400			
情報学部	情報科学	100	100	100	100		
	情報社会学	100	100	100	100		
計	200	200	200	200			
理学部	数学	35	35	35	35		
	物理学	45	45	45	45		
	化学	45	45	45	45		
	生物科学	45	45	45	45		
	地球環境科学	45	45	45	45		
計	215	215	215	215			
工学部	昼間	機械工学	150	150	150	150	
		電気電子工学	150	150	150	150	
		物質工学	145	145	145	145	
		システム工学	90	90	90	90	
		電気・電子工学					
	小計	535	535	535	535		
	夜間	機械工学					
		電気電子工学					
		物質工学					
		システム工学					
小計							
計	535	535	535	535			
農学部	共生バイオサイエンス学	60	60	60	60		
	応用生物化学	50	50	50	50		
	環境森林科学	40	40	40	40		
	人間環境科学						
	人生物生産科学						
森林資源学							
計	150	150	150	150			
合 計		1,970	1,980	1,980	1,980		

※人文学部は2012年度から「人文社会科学部」に名称変更をした。